

昭和 47 年度

学校教育要覧



日野市教育委員会

日野市立図書館 ☎81-7354



1374791

目 次

◇ 昭和47年度指導目標	1 頁
◇ 日野市教育相談室	9
◇ 科学教育センター	11
◇ 指導主事分担一覧	12
◇ 年間指導計画	14
◇ 使用教科書	26
◇ 小中学校教科領域研究主任一覧表	27
◇ 日野市教育委員会事務局組織	29
◇ 日野市立幼稚園、小学校、中学校要覧	31

昭和47年度指導目標

人間尊重の精神を養い、広い国際的視野にたった国民的自覚を高めるとともに、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな市民の育成をめざす教育を推進する。

特に本年度は、学校教育の本質について深く考え、未来の展望にたつ教育の推進を図るとともに、ひとりひとりの幼児・児童・生徒を伸ばす指導の徹底に努める。

そのため、次の事項に重点をおく。

1. 学校経営における創意とくふう。
2. 教育内容・方法の現代化。
3. 教師と幼児・児童・生徒との心の交流。
4. 健康と安全の教育。
5. 家庭と社会教育との連携。

※ アンダーラインの部分は、昭和46年度の字句を改めたり、新しく設定したものです。

〔参考〕

昭和47年度 東京都教育委員会の学校教育における指導目標

人間尊重の精神を養い、広い国際的視野にたった国民的自覚を高めるとともに、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな都民の育成をめざす教育を推進する。

特に学制100年の年を迎えるにあたり、学校教育の本質について深く考え、未来への展望にたつ教育の推進を図るとともに、教師と児童・生徒との心の交流をいっそう深め、ひとりひとりを生かす指導の徹底に努める。

そのため、次の事項に重点をおく。

1. 創意のある学校経営。
2. 教育内容・方法の現代化。
3. 人権尊重の教育。
4. 健康・安全の教育。



☆ 小学校教育の方針

1. 学校経営、学級経営

- 1) 各学校の教育目標が学年・学級を通じて児童の望ましい人間形成のために十分具現化されているか、学校経営全体の立場からこれを検討し、その改善をはかる。
- 2) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」などを活用して、いっそう学校経営における創意とくふうに努める。
- 3) 正常な学校運営に基づいて学年及び学級経営の充実をはかるとともに、学級担任教師は、その専門性と指導性の向上に努める。
- 4) 学級担任教師は、児童ひとりひとりの個性と能力について正しく理解するとともに、児童との心の交流が十分行なわれるように配慮する。

2. 教育課程・学習指導法

- 1) 新しい教育課程の趣旨を正しく理解し、その編成に当たっては地域及び児童の実態に基づいて調和と統一がはかれるように努める。
- 2) 教育課程の実施に当たっては、教育の成果が児童のひとりひとりに正しく身につくよう万全を期する。
- 3) 学習指導に当たっては、目標の明確化、内容の精選、指導方法の刷新に努めるとともに、児童の学習態度が意欲的に育成されるようくふうし、また、その評価についてもあわせて研究する。
- 4) 学習環境を整備し、教材教具の活用について努めるとともに、効率の高い学習指導の方法について研究する。
- 5) 新指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、幼児教育及び中学校の教育課程との関連について考える。

3. 道徳教育・生活指導

- 1) 深く児童の心にふれあって、その徳性と社会性が正しく養われるように学校教育全体の中で計画的に適切な指導をする。
- 2) 生活指導の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくようにその組織及び方法について十分研究をする。
- 3) 生活指導と教科及び道徳の指導との連けいを深めるとともに、教育相談的方法の推進をはかり、あわせて学校教育相談の望ましいあり方について留意する。
- 4) 児童を通じて学校と家庭との連けいに配慮し、学校教育における正しい人間形成のあり方について家庭の理解を深める。

5) 学校の全教育活動の中で、教師が児童と一体となって道徳教育を進める。

4. 健康・安全教育

1) 児童の体力の向上に努めるとともに、心身の調和のある発達を期する。

2) 児童の生命尊重に万全を期し、強力な且効果的な安全指導を行なう。

3) 地域の実態に即し、交通安全教育の徹底をはかる。

4) 児童が健康で安全な生活が送れるよう保健及び安全教育の実践に努力する。

5. 情操教育・科学教育

1) つねに学校教育の全般を通じて、人間性に即した豊かな心情がつかわれるよう十分配慮する。

2) 読書指導の推進と教育機器の活用 to 努める。

3) 科学的なものの見方、考え方を伸ばす教育の推進をはかる。

4) 科学教育を進展させる設備、器具の充実と、その効果的な利用について努める。

☆ 中学校教育の方針

1. 学校経営・学級経営

1) 学校経営に創意くふうをし、望ましい学校教育を推進する。

2) 学力を充実し、情操を培い、体力を養う等、生徒の望ましい人間形成をめざして、全教職員が一体となって指導に当たるように努める。

3) 学級担任教諭は、生徒個々をはあく理解し、心の交流が図れるよう配慮するとともに、教科担任教諭との連絡を密にし、学級経営の充実を図る。

4) 学年の中における学級担任相互の連絡を密にし、学年経営をくふうする。さらに学年相互の連絡がとれるよう努める。

5) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」等の活用により学校経営の現代化を図る。

2. 教育課程・学習指導

1) 教育課程の編成に当たっては、地域・生徒の実態をふまえ、調和と統一のはかれるよう努める。

2) 新指導要領実施の初年度なので研究とその実践化に努める。

3) 各教科・領域の指導に当たっては、指導のねらいを明確にし、指導内容の精選をはかり、指導法の改善に努める。

4) 学習評価の研究をすすめ、能力、適性を生かすよう努める。

5) 小学校教育課程との関連を図る。

6) 教材・教具の効果的な活用に努める。教育機器の利用についてもくふうし、学習指導の充実を図る。

3. 道徳教育・生活指導

1) 学校の全教育活動の中で道徳教育を進める。

2) 各教科、道徳、特別活動の中において生活指導の徹底をはかり、常に生徒と教師との心のふれあいに努める。

4. 健康・安全教育

1) 体育の時間はもちろん、クラブ活動、その他の教育活動を通して体力の増強をはかり、さらに保健指導の充実と相まって健康な生活ができるよう努める。

2) 安全確保は学校で常に留意しなければならない。学習指導中における安全指導、校外における安全指導にも力を入れるようにする。

5. 情操教育・科学教育

1) 人間性豊かな心情を養い、科学的態度を身につけるよう環境づくりに配慮する。

6. 進路指導

1) 個々の生徒の能力、適性をよくはあくし、それに応じられるように努める。

☆ 幼稚園教育の方針

1. 学級経営について創意くふうし、個々の幼児の理解に努める。

2. 教育課程の編成に当たっては、地域・幼児の実態に基づき改善を図る。

3. 指導のねらいを明確にし、指導内容を検討し、指導法のくふうに努める。

4. 健康・安全の生活習慣を身につけるよう努める。とくに交通安全について留意する。

5. 家庭との連絡を密にし、幼児の望ましい成長を図る。

6. 環境改善についてくふうし、豊かに情操を培うとともに、正しい科学的態度が身につくよう配慮する。

7. 小学校との関連を配慮する。

☆ 特殊教育の方針

1. 特殊教育の意義について正しく理解するとともに、特殊学級への入級について万全を期する。

2. 児童・生徒の心身の障害に応じた指導の研究を深める。

3. 指導内容の精選と指導法の改善に努める。

☆ 研修活動の方針

1. 教師の自主的研修の推進の方向に努める。
2. 各学校において積極的に校内研修がすすめられるよう促すとともに研修内容の充実をはかる。
3. 東京都教育庁指導部、多摩教育事務所、東京都立教育研究所および他郡市町との連携をはかる。

☆ 学校訪問について

1. 趣 旨

学校訪問は指導主事が学校の教育活動の実態に直接触れることによって、学校の当面する教育指導上の実践的な諸問題をとらえて、その学校が持っている諸条件に基づいて、できるだけ実際の解決をはかり、あわせて日野市の全般的な教育活動をはあくして、指導行政の参考とするため実施するものである。昭和47年度は次の三方法にわけ、教育課程実施上の諸点について、教職員と協議懇談するところに重点をおく。

(1) 計画訪問

年間一度、学校教育課長、指導主事等が訪問し、学校経営全般にわたって指導助言する。

内容については ①校長の概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況の参観

④教職員との協議懇談等を含むが、その方法については学校の希望によりきめる。

(2) 指導訪問

年間一度、計画訪問のない学期に指導主事が訪問し、学級経営・教科指導・道徳指導・生活指導その他について指導助言する。方法は学校の希望によってきめる。

(3) 要請訪問

各学校の要請に基づき指導主事が訪問し、指導助言する。各学校から要請が多くあることを期待する。

2. 計画訪問日程

4月26日(水)	第三幼稚園
5月24日(水)	第一幼稚園
6月 7日(水)	第二幼稚園
6月15日(木)	七生中学校
6月23日(金)	日野第八小学校
6月26日(月)	潤徳小学校
6月28日(水)	日野第一中学校

9月19日(火)	日野第一小学校
10月13日(金)	日野第二中学校
10月27日(金)	平山小学校
11月7日(火)	日野第二小学校
11月17日(金)	滝合小学校
11月21日(火)	百草台小学校
1月19日(金)	日野第三中学校
1月23日(火)	日野第五小学校
1月26日(金)	日野第四小学校
1月29日(月)	高幡台小学校
2月2日(金)	日野第六小学校
2月6日(火)	日野第三小学校

3. 指導訪問日程

5月8日(月)	高幡台小学校
5月23日(火)	滝合小学校
6月2日(金)	日野第二小学校
6月5日(月)	日野第五小学校
6月27日(火)	百草台小学校
7月5日(水)	日野第一小学校
9月20日(水)	第三幼稚園
9月22日(金)	日野第三中学校
10月12日(木)	日野第四小学校
10月16日(月)	日野第三小学校
10月18日(水)	第一幼稚園
11月10日(金)	日野第六小学校
11月22日(水)	第二幼稚園
11月27日(月)	日野第一中学校
11月30日(木)	日野第八小学校
12月8日(金)	潤徳小学校
2月1日(木)	平山小学校
2月5日(月)	七生中学校
2月9日(金)	日野第二中学校

☆ 研修計画について

1. 日野市研修会

(1) 学校経営研修会（8回）

校長・教頭・教務主任等を対象とし、幹部職員の資質の向上をはかる。

(2) 新任教諭研修会（13回）

新規採用教諭（経験1年未満を対象）に対し教職観、学習指導法、教材研究等の研修を行い教職員としての使命観を培い、指導力と資質の向上をはかる。

(3) 実技研修会（3回）

小学校低学年担任教諭の音楽・図工・体育についての実技について研修し、指導力の充実をはかる。

(4) 幼稚園教諭研修会（2回）

幼児教育の重要性にかんがみ、幼児指導の理論及び方法を研修する。

(5) 婦人教諭研修会（1回）

婦人教諭のあり方について研修をすすめ、資質の向上をはかる。

(6) 道徳教育研修会（3回）

道徳指導の普及徹底をはかるため研修会を開く。

(7) 事務主事研修会（2回）

主査、事務主査、事務主事、主事の職務内容について研修し、実務に対する事務能力の充実をはかる。

(8) 教育相談研修会（年間22回）

教育相談員、教育相談研修員、教育相談に関心のある教諭を対象に原則として毎月第二火曜、第三土曜に教育相談の方法、教育相談事例の扱い方について研修を行ない、教育相談についての正しい理解を深める。

(9) 教育工学研修会（2回）

教育の現代化をはかるため、授業のシステム化・教材プログラム、フローチャートなどについて研修する。

(10) 教育機器研修会（2回）

教育の現代化をはかるため教育機器（特にOHP、VTRなど）の活用について研修する。

☆ その他の事業について

1. 教務主任会（月例）
2. 生活指導連絡協議会（月例）
3. 音楽鑑賞教室
4. 中学校社会科副読本 —— 1年生用 —— 編集（委託）
5. 教育工学研究委員会 —— 調査・研究（委託）
6. 小学校教育課程作成の手引き —— 2領域 —— （委託）
7. 小学校科学教育センター（六小）
8. 教育相談（教育相談室報発行も含む）
9. 研究委託
 - ① 研究協力校
 - ② 校内研究助成 1校 1万5千円
 - ③ 個人研究 （1人 6,000円 × 50人）
 - ④ 派遣研究 （1人 1万円 × 30人）

日野市教育相談室

☆ 設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に、学校および家庭において主として学習意欲、能力、生活態度につき、保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事実を見出した場合、相談に応ずることを設置の趣旨としている。

☆ 構 成

相 談 室 長 松 本 武（日野市教育委員会学校教育課長）

教 育 相 談 員

山 内 春 美（日野三小教諭）	市 川 忝 子（日野八小教諭）
上 野 森 良（日野四小教諭）	立 川 泰 司（日野一中教諭）
井 尻 武 子（日野五小教諭）	原 島 弘（日野二中教諭）
水 上 由美子（日野五小教諭）	平 向 邦 江（日野一幼教諭）
広 沢 フサ子（日野六小教諭）	小柳津 芳 子（日野市教育委員会）
中 村 由久枝（平山小教諭）	

教育相談研修員

清 水 和 恵（日野一小教諭）	川原田 和 子（潤徳小教諭）
三 村 礼 子（日野一小教諭）	力 丸 としえ（潤徳小教諭）
村 上 政 子（日野一小教諭）	小笠原本 江（滝合小教諭）
石 原 八重子（日野二小教諭）	渋谷 範 子（高幡台小教諭）
阿 部 えり子（日野二小教諭）	鵜 沼 万里子（日野二幼教諭）
落 合 茂 子（日野三小教諭）	石 塚 博 子（日野三幼教諭）
津 金 久 子（日野三小教諭）	石 川 和 子（日野三幼教諭）
青 柳 政 子（日野三小教諭）	渡 辺 礼 子（日野一中教諭）
和 田 愛 子（日野四小教諭）	鈴 木 良 身（日野二中教諭）
中 村 志 美（日野五小教諭）	大 塚 和 子（七生中教諭）
伊 藤 啓 子（潤徳小教諭）	

担当指導主事 小 貫 隼 男

顧 問 佐 藤 正（東京学芸大学教授）

小 諸 ハル子（都立精神衛生センター梅ガ丘分室 精神医）

☆ 運 営

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼・小・中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火、木（８月を除く）の２回、教育相談員が２名１組となって相談に応じている。（午後１時３０分より４時まで）申込みは無料で受付けている。

○場 所 A, 教育委員会内教育相談室（遊戯室あり）

B, 中央公民館内小会議室 C, 日野市立第三幼稚園

○申込み先 日野市教育委員会学校教育課内日野市教育相談室

（TEL ８１－３５１１ 内線４８）

教育相談事務担当 岩 波 淑 子（月～土）

小柳津 芳 子（火・木）

○教育相談概況

申込み件数	110
面接延回数	476

主 訴 別 件 数	幼 児	児 童	生 徒	計
登園・登校拒否	1	4	1	6
集団に入れない等	5	4	0	9
落ちつきがない	0	4	0	4
いたづら・らんぼう	1	5	0	6
ぬすみ・うそ	1	1	0	2
神 経 症	0	4	0	4
身体虚弱・肥満・偏食	0	4	0	4
難 聴	1	2	0	3
自 閉 症	1	0	1	2
就学児精密検査	0	34	0	34
特殊学級入級等	0	18	0	18
就学・進学	3	4	0	7
学業不振・知恵おくれ	1	9	0	10
家庭環境問題	0	1	0	1
計	14	94	2	110

☆ 教育相談員の研修

教育相談員の資質と教育技術の向上のため、毎月第二火曜相談事例研究、第三土曜に研修会（顧問の先生が指導）を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

☆ 特殊学級との関係

日野第三小学校と日野第一中学校に併設されている特殊学級へ児童、生徒の入級希望があった場合、教育相談室においては、入級判別のための知能テストを行なうことになっている。この知能テストの結果は入級判別の資料として、日野市特殊学級入級選考委員会において扱い、判別会議を行った上で入級を決めている。

小学校科学教育センター

目 的

公立小学校における科学教育の振興を図るために、児童の科学的及び能力の向上と同教職員の理科の指導についての資質を高める事業を行なう。

◎日野市小学校科学教育センター

- ・所 在 地 日野市立日野第六小学校内
- ・センター長 新 海 圭 三（日野市立日野第六小学校長）
- ・センター児童数

校名	一小	二小	三小	四小	五小	六小	八小	潤徳小	平山小	百草台小	滝合小	高幡台小	合計
男	3	3	2	1	6	4	2	4	1	2	2	1	31
女	1		2	2		2			1				8
計	4	3	4	3	6	6	2	4	2	2	2	1	39

・指 導 員

1	片野 茂夫	一 小	9	長田 正夫	六 小
2	倉石 桂	二 小	10	原 祐房	〃
3	芳賀アサ子	〃	11	草刈 喜一	〃
4	松日楽敬治	三 小	12	堀越 邦昌	平 山 小
5	鹿島田恭江	四 小	13	森 清晃	潤 徳 小
6	福地 保	五 小	14	成井 朝雄	滝 合 小
7	江口 耕一	六 小	15	村越 正	〃
8	永井 一郎	〃	16	愛甲 秀人	〃

- 市担当指導主事 五十嵐邦享
- 他補助員 4 名

・事 業

5月6日の開講式より1月27日の閉講式まで26回にわたり、土曜の2時～4時、

- ・こまかくみる ・そくていする ・グラフであらわす ・すいそくする ・ぶんるいする
- ・せいさくするにわけ、一斉指導をする。そのほか自由研究、製作、見学、採集等の実地指導も行ない、年度末には研究発表会を行なう。

指導主事分担一覽

指導主事 小 貫 隼 男

指導主事 五十嵐 邦 享

1. 校種別分担

小 学 校 教 育	小 貫	中 学 校 教 育	五十嵐
幼 稚 園 教 育	小 貫		

2. 教科領域別分担

国語（含書写）	小 貫	教 育 相 談	小 貫
社 会	小 貫	特 殊 教 育	小 貫
算 数 ・ 数 学	五十嵐	視 聴 覚 教 育	五十嵐
理 科	五十嵐	放 送 教 育	五十嵐
音 楽	小 貫	図 書 館 教 育	小 貫
図 工 ・ 美 術	小 貫	学 校 給 食	小 貫
体育・保健体育	五十嵐	保 健 教 育	五十嵐
家庭・技術家庭	小 貫	安 全 教 育	五十嵐
外 国 語（英）	五十嵐	同 和 教 育	五十嵐
道 徳	五十嵐	公 害 関 係	五十嵐
生 活 指 導	五十嵐	進 路 指 導	五十嵐
特 別 活 動	五十嵐	幼 児 教 育	小 貫
学 校 行 事 等	小 貫	学 校 事 務	小 貫
学 級 経 営	小 貫		

3. 施設等分担

教 育 相 談 室	小 貫	文 化 行 事	小 貫
特 殊 学 級	小 貫	体 育 行 事	五十嵐
科学教育センター	五十嵐	移 動 教 室	五十嵐
教科書センター	五十嵐	夏 季 施 設	五十嵐

4. 指導事務分担

指導部・都研研修	五十嵐
研究員・研究生	小貫
教育課程届出承認	小貫
教育課程研究集会	小貫
研究集録	五十嵐
学校訪問	小貫
教材届出承認	五十嵐
遠足・修学旅行承認	五十嵐
調査・資料収集	小貫

研究紹介・連絡	小貫
指導要領	小貫・五十嵐
「日野の教育」まどべ	小貫・五十嵐
月行事予定	五十嵐
教育実習	五十嵐
研究協力校	五十嵐
委託研究	五十嵐
派遣研究	五十嵐
研究奨励費	五十嵐

5. 渉外分担

校長会	小貫・五十嵐
教頭会	小貫
教務主任会	小貫
生活指導連絡協議会	五十嵐

都市指導主事会	小貫・五十嵐
南多摩地区連絡会	五十嵐
日野市教研	小貫・五十嵐
教育工学研究委員会	五十嵐

6. 研修分担

学校経営研修会	小貫・五十嵐
新任教諭研修会	小貫
婦人教諭研修会	小貫
幼稚園教諭研修会	小貫
音楽実技研修会	小貫
図工実技研修会	小貫
体育実技研修会	五十嵐

道德教育研修会	五十嵐
特殊教育研修会	小貫
生活指導研修会	五十嵐
教育工学研修会	五十嵐
教育機器研修会	五十嵐
事務主事研修会	小貫
教育相談研修会	小貫

年間指導計画

- ☐ 全日ー 学校にも関係する都・多摩の行事
☐ 午前
☐ 午後

(4 月)

日	曜	市	都
1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		
8	土		▲都市指導主事会
9	日		
10	月	○都研研修会・説明会(教頭)	○地区教委訪問
11	火	○特殊教育連絡協議会	☐ 地区教委訪問
12	水	△訪問学級小・中連絡会	☐ 地区教委訪問
13	木		☐ 地区教委訪問
14	金	○新任教諭研修会(オリエンテーション)	
15	土		
16	日		
17	月	○教務主任会	
18	火	○図書館主任連絡協議会	
19	水	○教育工学研究委員会(第一回)二回目からは未定	△生活指導連絡会
20	木		△中教研担当指導主事打合せ
21	金	○学校相談係打合せ会	△指導連絡協議会
22	土	○教育相談研修会	○教育研究員総会
23	日		△学校訪問協議会
24	月	○生活指導連絡協議会	△訪問学級協議会
25	火	○音楽鑑賞教室打合せ会	
26	水	☐ 第三幼稚園計画訪問	
27	木		
28	金	○南多摩地区教育研究員総会	
29	土	(天皇誕生日)	
30	日		
備	考		

(5 月)

日	曜	市	都
1	月		
2	火	☐ 新任教諭研修会 (市内巡検)	
3	(水)	(憲法記念日)	
4	木		▲都市指導主事会
5	(金)	(こどもの日)	
6	土	○小学校科学教室センター開講式 (六小)	
7	(日)		
8	月	☐ 高幡台小指導訪問	
9	火	○教育相談研修会 ○音楽実技研修会	☐ 生活指導担当 指導主事宿泊研修会
10	水		☐ "
11	木		☐ "
12	金		
13	土		
14	(日)	日光移動教室実地踏査	
15	月		△幼稚園担当指導連絡会
16	火	○音楽鑑賞教室打合せ会 ○教育工学研修会	
17	水	☐ 真鶴移動教室実地踏査	
18	木	○中学校社会科調読本作成委員会 (第一回) 二回目からは未定 ○体育実技研修会	
19	金	☐ 音楽鑑賞教室 (△小、○中)	
20	土	○教育相談研修会	
21	(日)		
22	月	○教務主任 ○生活指導連絡協議会	
23	火	○学校経営研修会	
24	水	☐ 第一幼稚園	
25	木	○新任教諭研修会 (国語) ☐ 修学旅行 (七生中) (三中)	△指導連絡協議会
26	金	☐ 滝合小指導訪問 真鶴移動教室 (六小) (百草台小) ☐ " "	☐ 道徳助言者研究協議会
27	土	(一小) (二小) ☐ " "	▲都市指導主事会
28	(日)	☐ 修学旅行 (二中)	
29	月	☐ " (平山小) (八小) (滝合小) ☐ " "	
30	火	☐ " (五小) ☐ " "	○中教研助言者総会
31	水	☐ " (潤徳小) (高幡台小)	
備 考			

(6 月)

日	曜	市	都
1	木	☐ 真鶴移動教室（三小）、（四小）	△特殊担当指導主事連絡会
2	金	☐ 二小指導訪問	
3	土		
4	日		
5	月	☐ 五小指導訪問	
6	火	○学校経営研修会（校長）	
7	水	☐ 第二幼稚園・計画訪問	
8	木	○新任教諭研修会（特殊教育）	△生活指導連絡会
9	金	○音楽鑑賞教室打合せ会	○生活指導連絡協議会（多摩地区） ○道德助言者研究協議会
10	土		△都市指導主事会
11	日		
12	月	○生活指導連絡協議会	
13	火	○教育相談研修会	
14	水		
15	木	☐ 七生中計画訪問	
16	金	○教務主任会	☐ 道德助言者研究協議会
17	土		
18	日		
19	月	○図工実技研修会	○生活指導主任世話人協議会
20	火	○道德教育研修会	△指導連絡協議会
21	水	○幼稚園教諭研修会	<u>一般訪問</u>
22	木	○教育機器研修会	
23	金	☐ 八小計画訪問	
24	土	○教育相談研修会	
25	日		
26	月	☐ 潤徳小計画訪問	
27	火	☐ 百草台小指導訪問	
28	水	☐ 一中計画訪問	
29	木	○学校経営研修会（教頭）	△都市指導主事会
30	金		○性教育手引き説明会（多摩地区）
備	考		○同和教育研究会（対象・教諭）中旬

(7 月)

日	曜	都	都
1	土		
2	日		
3	月	○生活指導連絡協議会	
4	火	○教育相談研修会	
5	水	□一小指導訪問	
6	木	○事務職員研修会	△生活指導連絡会
7	金	○新任教諭研修会(社会)	○中・高生活指導連絡協議会
8	土		▲都市指導主事会
9	日	□日光移動教室(1班)	
10	月	□ "	
11	火	□ " ↓ (2班)	
12	水	□ " ↓	
13	木	□ "	△指導連絡協議会
14	金	○学校経営研修会	
15	土	○教育相談研修会	
16	日		
17	月		
18	火		
19	水		▲学校訪問協議会(多摩地区)
20	木		▲都市指導主事会
21	金		
22	土		
23	日	小学校科学教育センター宿泊研修会	
24	月	↓	
25	火		
26	水	□新任教諭研修会(教育相談)	
27	木		
28	金	□教育相談研修員研修会	
29	土	"	
30	日		
31	月	□市内巡検	
備考			

(8 月)

日	曜	市	都
1	火		
2	水		
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	☐ 教育相談宿泊研修会 (大成荘)	
8	火	☐ ↓ " (")	
9	水		
10	木	☐ 新任教諭宿泊研修会 (御岳)	
11	金	☐ ↓ " (")	
12	土	△ 学校経営研修会	
13	日		
14	月		
15	火		
16	水		
17	木	☐ 事務職員宿泊研修会 ()	
18	金	☐ ↓ " ()	
19	土		
20	日		
21	月		
22	火		☐ 教育研究員・御岳宿泊研修 (高特) "
23	水		↓ " _____
24	木		_____ (中) _____
25	金		_____ ↓ " _____
26	土		_____ ↓ " _____
27	日		_____ (幼・小) _____
28	月		_____ ↓ _____
29	火		
30	水		
31	木		
備 考			

(9 月)

日	曜	市	都
1	金		
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		△生活指導連絡会
8	金		
9	土		△都市指導主事会
10	日		
11	月	○生活指導連絡協議会	
12	火	○教育相談研修会	
13	水		
14	木		△指導連絡協議会
15	金	(敬老の日)	
16	土		
17	日		
18	月	○教務主任	
19	火	□一小・計画訪問	
20	水	□第三幼稚園・指導訪問	
21	木		○生活指導連絡協議会(多摩地区)
22	金	□三中・指導訪問	
23	土	(秋分の日)	
24	日		
25	月	○新任教諭研修会(理科)	
26	火	□修学旅行(一中)	
27	水	□ " ↓	一般訪問
28	木	□ " ↓	△都市指導主事会
29	金		
30	土	○教育相談研修会	
備 考		○水泳記録会	

(10月)

日	曜	市	都
1	㊥	(都 民 の 日)	
2	月	○生活指導連絡協議会	
3	火	○学級経営研修会	
4	水	○幼稚園教諭研修会	
5	木		△ 特殊担当指導連絡会
6	金	○新任教諭研修会 (道 徳)	
7	土		
8	㊥		
9	月		
10	㊦	(体 育 の 日)	
11	水		△ 生活指導連絡会 □ 幼稚園担当指導連絡会
12	木	□ 四小指導訪問	
13	金	□ 二中計画訪問	
14	土		▲ 都市指導主事会
15	㊥		
16	月	□ 三小指導訪問	
17	火	○教育相談研修会	
18	水	□ 第一幼稚園指導訪問	
19	木	□ 生活指導連絡協議会宿泊研修会 ()	
20	金	□ ↓ " ()	
21	土		
22	㊥		
23	月	○教育工学研修会 ○事務職員研修会	
24	火	○教務主任会	△ 指導連絡協議会
25	水		
26	木	○学校図書館研修会	▲ 都市指導主事会 △ 中教研担当指導主事打合せ
27	金	□ 平山小計画訪問	
28	土	○教育相談研修会	
29	㊥		
30	月		
31	火		
備 考			● 同和教育研修会 (対象・校長) 中旬 ● " (対象・幼稚園) 下旬

(1 1 月)

日	曜	市	都
1	水		
2	木		▲ 都市指導主事会
3	金	(文 化 の 日)	
4	土		
5	日		
6	月	○生活指導連絡協議会	
7	火	□二小計画訪問	
8	水		
9	木	○教務主任会	△生活指導連絡会
10	金	□六小指導訪問	
11	土		
12	日		
13	月		○生活指導主任世話人協議会
14	火	○教育相談研修会	
15	水		
16	木	○婦人教諭研修会	△指導連絡協議会
17	金	□滝合小計画訪問	
18	土		
19	日		
20	月	○学校経営研修会	○中・高生活指導主任連絡協議会
21	火	□百草台小計画訪問	
22	水	□第二幼稚園指導訪問	
23	木	(勤 労 感 謝 の 日)	
24	金	○新任教諭研修会 (家庭科)	
25	土	○教育相談研修会	▲ 都市指導主事会
26	日		
27	月	□一中指導訪問	
28	火	○道徳教育研修会 ○音楽鑑賞教室打合せ会	
29	水		
30	木	□八小指導訪問	
備 考			小教研都集会 中旬～下旬 中教研発表会 中旬～12月上旬

(1 2 月)

日	曜	市	都
1	金	○教育機器研修会	
2	土		
3	①		
4	月		
5	火	○教育相談研修会	
6	水		
7	木	○新任教諭研修会(特別活動)	△生活指導連絡会
8	金	□潤徳小指導訪問	
9	土		▲都市指導主事会
10	①		
11	月	○生活指導連絡協議会	
12	火	○教務主任会	
13	水		
14	木		△指導連絡協議会
15	金		
16	土	○教育相談研修会	
17	①		
18	月		
19	火		▲学校訪問協議会(多摩地区)
20	水		
21	木		▲都市指導主事会
22	金		
23	土		
24	①		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	②		
30	③		
31	①		
備 考			

(1 月)

日	曜	市	都
1	①月	(元 旦)	
2	②火		
3	③水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	④日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		△生活指導連絡会
12	金		
13	土		▲都市指導主事会
14	⑤日		
15	①月	(成 人 の 日)	
16	火	○教育相談研修会	
17	水		
18	木	○新任教諭研修会(算数)	△指導連絡協議会
19	金	□三中計画訪問	
20	土		
21	⑥日		
22	月	○生活指導連絡協議会	
23	火	□五小計画訪問	
24	水		
25	木	○教務主任会	▲都市指導主事会
26	金	□四小計画訪問	
27	土	○教育相談研修会 ○小学校科学教育センター閉講式	
28	⑦日		
29	月	□高幡台小計画訪問	
30	火		●生活指導連絡協議会(多摩地区)
31	水		一般訪問
備 考			○同和教育研修会(対象…教諭) 中旬

(2 月)

日	曜	市	都
1	木	☐ 平山小指導訪問	
2	金	☐ 六小計画訪問	
3	土		
4	(日)		
5	月	☐ 七生中指導訪問	
6	火	☐ 三小計画訪問	
7	水		△ 特殊担当指導主事連絡会
8	木	○ 道徳教育研修会	
9	金	☐ 二中指導訪問	
10	土		▲ 都市主導主事会
11	(日)	(建国記念の日)	
12	月	○ 学校経営研修会	
13	火	○ 教育相談研修会	
14	水		
15	木	○ 教務主任会	△ 生活指導連絡会
16	金		
17	土		
18	(日)		
19	月	○ 生活指導連絡協議会	
20	火		△ 指導連絡協議会 ○ <u>道徳助言者研究協議会</u>
21	水		
22	木	○ 新任教諭研修会 (評価)	
23	金	○ 音楽鑑賞教室打合せ会	
24	土	○ 教育相談研修会	▲ 都市指導主事会
25	(日)		
26	月		
27	火		
28	水		▲ 学校訪問協議会 (多摩地区)
備	考		○ 同和教育研修会 (対象…幼稚園) 中旬

(3 月)

日	曜	市	都
1	水		
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		
7	水		
8	木		△ 中教研担当指導主事打合せ ▲ 都・市指導主事会
9	金	○ 教務主任会	
10	土	○ 教育相談研究発表会	△ 生活指導連絡会
11	日		
12	月	○ 生活指導連絡協議会	
13	火	○ 特殊入級選考委員会	
14	水		
15	木		▲ 都・市指導主事会
16	金		
17	土		
18	日		
19	月		
20	火		
21	水	(春 分 の 日)	
22	木		△ 指導連絡協議会
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		
備 考			

使 用 教 科 書

1. 小学校

国 語 科	「小学新国語」(光村図書) 「標準書き方」(教育出版) 「標準書き方毛筆」(教育出版)
社 会 科	「小学社会」(日本書籍) 「新しい社会科地図」(東京書籍)
算 数 科	「標準算数」(教育出版)
理 科	「新しい理科」(東京書籍)
音 楽 科	「〇年生の音楽」(教育芸術)
図画工作科	「図画工作」(開隆堂)
家 庭 科	「小学校家庭科」(開隆堂)

2. 中学校

国 語 科	「中学校現代の国語」(三省堂) 「新しい習字」(東京書籍)
社 会 科	「新しい社会・地理的分野」(東京書籍) 「中学社会 日本の歴史と世界」(清水書院) 「中学社会 公民的分野」(日本書籍) 「中学校社会科地図最新版」(帝国書院)
数 学 科	「中学校数学」(学校図書)
理 科	「新しい科学」(東京書籍)
音 楽 科	「中学生の音楽」(教育芸術) 「新版標準中学生の器楽」(教育出版)
美 術 科	「美術」(日文)
保健体育科	「中学校保健体育」(学研)
技術家庭科	「技術・家庭 男子用」(開隆堂) 「技術・家庭 女子用」(開隆堂)
外国語科	「Everyday English」(中教)

小中学校教科・領域・研究主任一覧表

	日野一小	日野二小	日野三小	日野四小	日野五小	日野六小	潤徳小	平山小	日野八小	百草台小	滝合小	高幡台	日野一中	日野二中	七生中	日野三中
教 務	上江洲信七	倉石 桂	松日楽敬治	大熊 喜一	中川 金作	和田 国平	天野 七郎	堀越 邦昌	飯田 幸次	村松 徹二	伊藤 恵造	末継 逸夫	河野 寿忠	井田 武	田端 七郎	畔蒜 健一
生 活 指 導	上山洋一郎	亀山恵之助	戸塚 春男	高倉 教行	大竹 三郎	岩尾 照夫	清水 七郎	白川 茂一	佐藤 章吾	肥高 重男	橋本 清	土方 邦男	飯島 利三	西川 利行	鈴木 清司	北原 景昭
研究または研修	村上 澄江	石岡 信行	山内 春美	上野 森良	小板橋五佐男	曾我 哲夫	天野 七郎	関 恒夫	柳沼 敏男	村松 徹二	鳥飼 政喜	辻田 六郎	山浦 宏	平 美治	新井 教旦	志茂 知之
国 語	畠中 巽	赤石 亨	高井くめ子	高倉 教行	藤森 三治	江口 耕一	田森 脩詮	石井 富蔵	近藤 正晴	菊池 悦子	西田 敦子	村越 裕子	大貫 米子	田中 栄一	赤木 清福	吉田 克己
社 会	越村 清治	亀山恵之助	広瀬 邦夫	上野 森良	前川 せつ	長田 正夫	間瀬 静夫	安達 美武	佐藤 章吾	肥高 重男	伊藤 恵造	末継 逸夫	大山 裕子	秦 好一	木下 満子	持田 友宏
算 数・数 学	片野 茂夫	河島 務	八田 博子	日下部芳子	藤崎 健児	乗越 邦生	天野 七郎	溝江恵美子	飯田 幸次	信夫 頼子	伊礼 道子	安西 利江	山本 節子	渡辺 勉	明石 敏春	鈴木 幸子
理 科	黒田 弘行	倉石 桂	松日楽敬治	鹿島田恭江	岡田 充生	永井 一郎	森 清晃	堀越 邦昌	柳沼 敏男	村松 徹二	村越 正	赤井 光子	立川 泰司	稲川 正義	成舞 京子	長島 寿平
音 楽	高橋 晴彦	小林 美子	森 甫	村田那智子	小林貴美子	藤野 祥子	村上 悦子	内山美知子	森川 琉子	稲垣 昌子	岡田あつ子	河原田桂子	阿部 敬	西村美紗子	大宅 寛	河野 裕香
図 工・美 術	吉崎 幸枝	片柳 延子	戸塚 春男	渡辺 芳郎	本荘 正雄	長沢 和子	小口 清一	徳永 照子	小島 シズ	佐藤カズ子	鳥飼 政喜	辻田 六郎	逸見 敏	小畑 亮	阿部 晃一	佐藤 恒
体 育・保 健 体 育	原田 昭	信夫 清彦	藤本 憲康	雨宮 一好	佐々木守夫	草刈 喜一	須藤 貞雄	和田 文雄	内藤 康	安田 春信	成井 朝雄	土方 邦男	阿藤 貞夫	千田 正之	山本 矢一	北原 景昭
家庭・技術家庭(男)	奈良 悦子	石川 正子	天野 正枝	古谷二三子	林 茂子	当間 糸子	川原田和子	長尾 節子	長田 裕子	佐久間久美子	河村 順子	平川 園子	山賀 典雄	鈴木 良身	田端 七郎	畔蒜 健一
技術家庭(女)													筒井 ハル	萩原 典子	松本 節子	佐藤 寿枝
外 国 語 (英)													黒木 利武	橋本 紘一	猪井 昭子	遠藤 仁
道 徳	村上 澄江	松井 慶吾	本保 陽子	杉本 瑛之	松村タケ子	和田 国平	石井 和子	川上 昇一	平山 毅	佐久間久美子	清水 輝夫	辻田 六郎	山浦 宏	荒井 式子	田端 七郎	鈴木 信一
特 別 活 動	青柳 俊夫	石岡 信行	大上 琢磨	上野 森良	赤池 正人	藤田 孝彦	武内 忠雄	白川 茂一	荒尾 浩子	斉藤 茂	川井 龍介	青柳 佳子	渡辺 礼子	渡辺 勉	鈴木 清司	吉田 克己
学 校 行 事	青柳 俊夫	石井 三士	松日楽敬治	仲二見洋子	福地 保	山添 邦男	森 清晃	堀越 邦昌	柳沼 敏男		伊藤 恵造	青柳 佳子	河野 寿忠	高木 宏文	田端 七郎	畔蒜 健一
学 校 教 育 相 談	三村 礼子	石原八重子	落合 茂子	上野 森良	水上由美子	広沢フサ子	川原田和子	中村由久枝	市川 忞子	石川 耀子	小笠原本江	渋谷 範子	立川 泰司	原島 弘	鈴木 清司	東郷 隆盛
進 路 指 導													羽生 幸一	成瀬 二郎	中村 剛記	東郷 隆盛
視聴覚または教育機器	酒井 栄一	河島 務	根守 優江	宮沢美恵子	柴田 静枝	清水しずか	和田いさを	吉川 郁子	長田 裕子	安田 春信	溝口 達男	河原田桂子	大山 正昭	秦 好一 高木宏文	明石 敏春	長島 寿平
学 校 図 書 館	辻田 静江	高島 和子	井上 保	古谷二三子	西川 朝子	今野みち子	坂井 和子	赤松 紀子	橋本 允子	荻沢モト子	西田 敦子	中村 笙子	宇津木十四男	秦 好一	阿部 晃一	吉田 克己
給 食	安藤 和枝	川崎 照子	吉川 都子	舞田 章子	関根 敦子	来間 志信	斉藤 イク	長尾 節子	禰 由子	幸野 嘉子	熊谷 三起	村越 裕子	森田 寿子	海江田松子	鈴木 歌子	
安 全 教 育	原田 昭	芳賀アサ子	八田 博子	渡辺 芳郎	大竹 三郎	長田 正夫	清水 七郎	会田 尚子	円谷雅之助		橋本 清	土方 邦男	阿部 敬	石田 洋子	鈴木 清司	北原 景昭
保 健 (主 事)	今野みち子	松井 慶吾	木内 房江	時女 久子	中村 大	草刈 喜一	須藤 貞雄	和田 文雄	近藤 正晴		清水 輝夫	辻田 六郎	阿藤 貞夫	柳井佐和子	大塚 和子	桜井 絢子
養 護	松井 玉江	倉林 紀子	高橋 陸	時女 久子	富樫 容子	上山美智子	香坂みどり	鈴木とよ子	伊佐 弘江	佐々木加津子	田島 佳子	細井 聖子	釣 澄江	勝部 節子	大塚 和子	小屋松ゆみ
管 材	上田 博文	大野 馨	石川 聖子	渡辺 芳郎	深沢 真人		進 真郎	小島 義之	郷原 敦			石田 義一	武藤 保	中根 健五	飯 キミ	佐藤 博助
事 務	上田 博文	大野 馨	石川 聖子	川口 真弓	川崎 浩	広池 茂	橋田 鳳	小島 義之	郷原 敦	川北喜美雄	斉藤 悦子	石田 義一	武藤 保	中根 健五	飯 キミ	佐藤 博助

日野市教育委員会事務局組織





園 名 日野市立第一幼稚園

所在地 日野市多摩平 4-3

電 話 0425-81-4124

順 路 豊田駅より北へ約10分

園長氏名 江 角 正 子

主任氏名 田 中 澄 子

1. 沿革の概要

昭和40.4.1 日野市立第一幼稚園として
設置さる。学級7、定員
280名、職員教諭8名、用
務員1名、
園敷地2,700㎡、園舎777㎡
プレハブ1棟

昭和40.4.10 開園 園児280名

5.25 創立記念日とす

5.30 園章制定

昭和41.3.19 第一回修了児 119名

昭和42.3.18 第二回修了児 191名

昭和42.12.20 鳥小屋完成

昭和43.3.19 第三回修了児 197名

昭和43.9.6 プール第一次計画完成
(中庭)

昭和43.12.20 ホール増築完成

昭和44.2.10 プール第二次計画完成
(プールサイド、シャワー)

昭和44.3.20 第四回修了児 224名

昭和45.3.20 第五回修了児 195名

昭和45.6.1 プレハブ園舎、ベランダ増
設工事完成

昭和45.7.15 運動場拡張完成

昭和45.7.15 園塀ブロック金網塀に改装
完成

昭和46.3.20 第六回修了児 228名

昭和47.3.18 第七回修了児 216名

2. 歴代園長

氏 名 年 月 ～ 年 月

江 角 正 子 昭和40.4.1～

3. 地域の環境

住宅地、公園等にかこまれ静かである。
団地内には広場、公園など子どもたちのあ
そび場所もあるが充分とは言えない状態
である。甲州街道が近く、また団地内での自
家用車が多く交通量は年毎に増え、ひんぱ
んに交通事故なども聞かれる。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで明るい心の子
- (2) 情操豊かで創造力のある子
- (3) 基本的な生活習慣を正しく身につけた
子
- (4) なかよくだれとでもあそべる子

5. 本年度の研究

- (1) 個人研究
幼児のあそびについて

6. 児童数(生徒数)、幼児数

	4才児	5才児	計
学 級 数	2	5	7
男	31	103	134
女	44	87	131
計	75	190	265

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研究教科	そ の 他
1	江 角 正 子	52	園 長	昭和40.4.1	経 営	{ 管理事務 教務事務 庶務全般 }
2	田 中 澄 子	46	主 任	昭和47.4.1	健 康 管 理	
3	平 向 邦 江	29	二年々少	昭和40.4.1	音楽リズム	
4	上 野 美津枝	33	〃	昭和43.4.1	自 然	
5	坂 口 嘉津子	32	一年年長	昭和40.4.1	絵 画 製 作	
6	市 川 やす子	24	〃	昭和46.9.1	言語、社会	
7	甲 野 エ ミ	39	〃	昭和40.4.1	音楽リズム	
8	田 中 洋 子	23	〃	昭和47.4.1	言語、図書	
9	沖 山 英 代	34	二年年長	昭和41.4.1	音楽リズム	

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	図書コーナーの利用(1)
昭和42年度	図書コーナーを利用して(2)
昭和43年度	丈夫なからだ(体力づくり)
昭和44年度	「意欲的によく遊べる子」 (1)ひとりひとりの幼児の理解を中心に (2)指導過程における指導の方法を中心に
昭和45年度	44年度研究「意欲的に遊べる子」について継続研究
昭和46年度	教育課程と指導計画の実践にもとづいた再編成

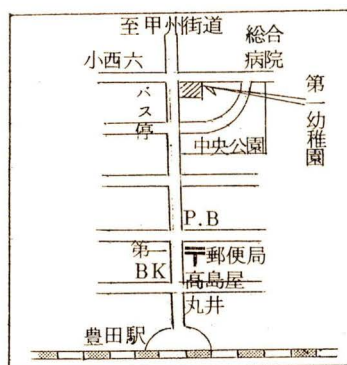
9. 幼稚園教育相談

教育相談窓口	上 野 美津枝
教育研修員	平 向 邦 江

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
1. 会社員	191	72
2. 公務員	30	11
3. 公社員	9	4
4. 教 員	7	3
5. 自営業	15	6
6. その他	13	4

11. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山4-8-4
電 話 0425-91-4125
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分

園長氏名 小 野 晁

主任氏名 樋 山 欣 子

1. 沿革の概要

- 昭和40.4.1 日野市立第二幼稚園として
平山小学校内に設置。
園児 131名
- 昭和40.5.10 開園記念日と定める。
- 昭和40.5.30 園章制定
- 昭和41.2.23 放送施設完成
- 昭和46.3.10 日野市研究協力園として研
究発表を行なう。
- 昭和46.3.10 第二幼稚園の歌制定
- 昭和47.3.15 雨天時の泥粘土コーナー完
成

2. 歴代園長氏名

氏 名 年 月 年 月

後藤 正太 昭40.4 ~ 昭42.3

安積 利治 昭42.4 ~ 昭47.3

小野 晁 昭47.4 ~

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がっら
なり、自然に恵まれ景観のよい環境である。
近年は宅地造成、住宅団地造成により住宅
地と化し、都内に勤務する家庭の子弟が多
くなっている。

4. 教育目標

- (1) つよいからだで元気な子ども
- (2) 明るく仲よく遊べる子ども
- (3) ゆたかな心をもつ子ども

5. 本年度指導の重点

- (1) 野外活動に重点をおき、特に体力づく
り、情操面の育成に力を注ぐ。
- (2) 野外活動をとおし正しい集団生活に必
要な自主性、協調性を養う。

6. 幼児数

学 年 5 才 児

学級数 3

男 児 46名

女 児 46名

計 92名

7. 教職員

番 号	氏 名	年 令	担 任	本校就任 年 月 日	研究 教科
1	小野 晁	54	園 長	47.4.1	経営
2	樋山 欣子	49	主 任	47.4.1	経営
3	高橋千鶴子	40	一年年長 ばら組	46.5.1	社会
4	鵜沼万里子	28	二年年長 さくら組	40.4.1	言語
5	林 きよ子	24	一年年長 ゆり組	47.4.1	健康

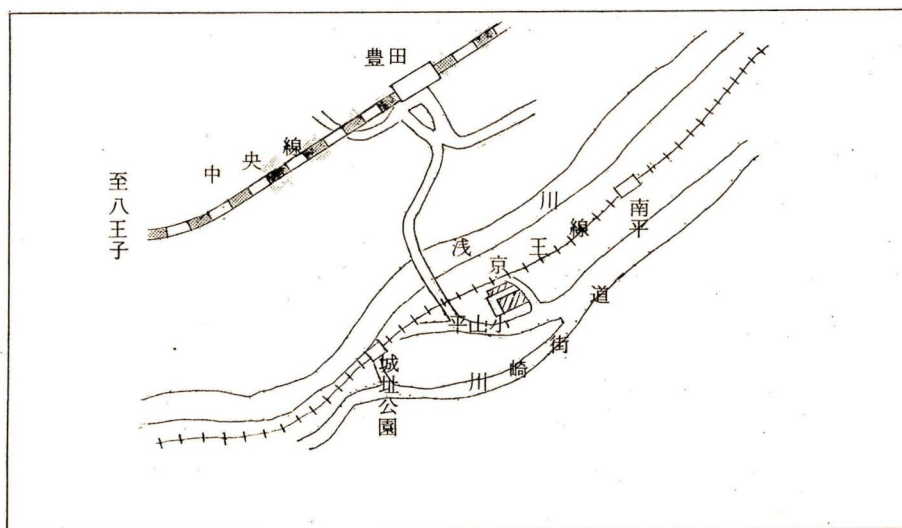
8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	遊びと施設
昭和42年度	子どもの健康状態と体力の向上について
昭和43年度	粘土あそび だろ粘土コーナーの利用
昭和44年度	遊具を使用した幼児の体育指導
昭和45年度	地域環境に即した野外指導の年間計画と実践
昭和46年度	45年度の研究継続

9. 保護者職業一覧

職 種	%	職 種	%	職 種	%
会 社 員	59	教 員	1	農 業	1
国鉄職員	4	工 員	1	銀 行 員	4
公 務 員	9	商 業	5	そ の 他	6

10. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野 2800
電 話 0425-81-7127
順 路 国電 日野駅下車 徒歩7分
バス 日野市役所前

園長氏名 下 田 忍

主任氏名 鷺 見 照 子

1. 沿革の概要

昭和41. 2.28 園舎完成
昭和41. 4. 1 設置認可
昭和41. 4.11 開 園
(4学級、園児数143名)
昭和42. 2. 園舎東側ブロック塀工事
昭和42. 5. 裏門両袖ブロック塀工事完了
昭和42.10. 花壇完成
昭和42.11. コークス小屋完成
昭和42.11. 観察池完成
昭和44. 9. 砂場用足洗(手洗場)場完成

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ~ 年 月
吉 田 辰 次	41.6 ~ 41.5
永 野 林 弘	41.6 ~ 42.3
吉 田 辰 次	42.3 ~ 44.3
下 田 忍	44.3 ~

3. 地域の環境

- ・田畑(果樹園)、丘、林、川など自然環境に恵まれ、公園、神社、広場など、こども達のあそび場所もじゅうぶんにある。
- ・通園区域が広くバス通園児もある。
- ・小学校が隣接し、消防署、市役所が近くにある。
- ・甲州街道(国道20号線)、高幡街道が近いので交通事情も急激に変化してきている。

4. 教育目標

- (1) よい社会人となるための基礎を育成する。

ア. じょうぶで明るい子

イ. きまりを守って誰とでも仲よくできる子

- (2) 創造性の芽生えをつちかう。

5. 本年度指導の重点

- (1) 教育課程の編成と改善についての重点

ア. 豊かな経験をさせて創造力の芽生えをつちかう。

イ. 幼小の関連をふまえた具体的指導を実践する。

- (2) 環境構成

ア. 活動意欲を高めるための環境構成をくふうする。

イ. 遊具の整備と管理の向上につとめる。

- (3) 家庭との連絡

ア. 父母との懇談のあり方を検討する。

イ. 父母との連絡を密にし、指導に役立てる。

- (4) その他

安全指導を計画的に実施する。

6. 幼児数

	一 年 保 育	二年保育年長	計
学 級 数	3	1	4
男	41	16	57
女	43	22	65
計	84	38	122

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	下 田 忍	52	園 長	昭和44.4.1	経 営	
2	鷺 見 照 子	47	主 任	" 41.4.1	社 会	
3	石 川 紀 子	32	一年保育(5才)	" 47.4.1	健 康	
4	石 川 和 子	28	" (")	"	言語・図書	
5	石 塚 博 子	24	二年保育年長(5才)	" 45.11.1	自 然	
6	古 谷 みち子	23	一年保育(5才)	" 47.5.1	社 会	

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	自然の領域における教材の選択
昭和42年度	幼、小の関連について
昭和43年度	幼、小の関連
昭和44年度	幼、小の関連「自然の領域についての実践的研究」
昭和45年度	自然の領域における評価の観点について
昭和46年度	科学的思考力の芽生えをつちかう指導法

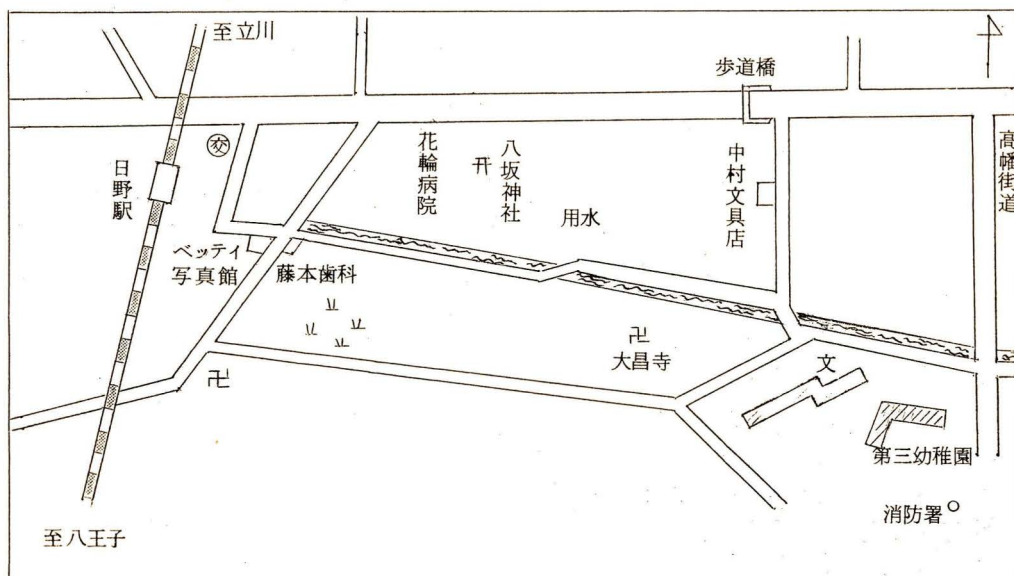
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科、領域	研究員、研究生別
昭和43年度	鷺 見 照 子	社 会	研 究 員

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
1. 会 社 員	89	76	5. 農 業	1	1
2. 公 務 員	7	5	6. そ の 他	6	6
3. 自 営 業	16	12	7. 計	122	100
4. 団 体 職 員	3				

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第一小学校
所在地 日野市日野 2800 番地
電話 0425-81-0073・0061
順路 中央線日野駅下車 徒歩 6 分

校長氏名 下 田 忍

教頭氏名 小野寺 東 雄

1. 沿革の概要

- 明治 6. 5. 5 北原の土淵山普門寺の本堂をあて開校、第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。
(当時神奈川県)
- 明治 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎改増築、校地拡張(現中央公民館の所)
- 昭和 11. 4. 29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)
- 昭和 15 日野 2800 番地(現在地)に土地 900 余坪 新校舎新築開始。(戦時中軍徴用)
- 昭和 23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭和 25. 4. 1 東京都指定実験校となり、教育課程の研究発足 27 年 3 月 5 日発表
- 昭和 28. 8. 2 80 周年記念プール竣工
- 昭和 38. 11. 日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更。
- 昭和 40. 4 防音校舎三期をもって完成。
- 昭和 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題として研究発足。
44 年 2 月 21 日に研究発表。
- 昭和 43. 8. 1 日野市集会場を屋内運動場兼講堂として移管
- 昭和 44. 4. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭和 46. 5. プール更衣室増設

2. 歴代校長

- | 氏 名 | 年月～年月 |
|-------------|------------------|
| 1. 日 野 義 順 | M 6. 5～M 9. 7 |
| 2. 国府田 学 | M 9. 7～M 11. 3 |
| 3. 小 川 則 要 | M 11. 4～M 15. 3 |
| 4. 鈴 木 宗 也 | M 15. 4～M 16. 8 |
| 5. 上 野 謙 松 | M 16. 9～M 18. 3 |
| 6. 二 見 友三郎 | M 18. 4～M 19. 4 |
| 7. 八木岡 寛 制 | M 19. 5～M 21. 10 |
| 8. 佐 野 鶴 松 | M 21. 11～T 5. 3 |
| 9. 古 谷 剛次郎 | T 5. 4～T 12. 1 |
| 10. 河 合 平 作 | T 12. 2～T 15. 3 |
| 11. 古 谷 剛次郎 | T 15. 4～S 11. 1 |
| 12. 宮 川 海 三 | S 11. 2～S 18. 3 |
| 13. 貫 井 半 蔵 | S 18. 4～S 23. 8 |
| 14. 小 池 嘉 一 | S 23. 9～S 34. 3 |
| 15. 尾 崎 半次郎 | S 34. 4～S 37. 3 |
| 16. 五十嵐 葆 光 | S 37. 4～S 38. 3 |
| 17. 木 村 清 | S 38. 4～S 41. 3 |
| 18. 吉 田 辰 次 | S 41. 4～S 44. 3 |
| 19. 下 田 忍 | S 44. 4～ |

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は区画、地番の整理も十分でなく、近代都市への脱皮の途上にあるようである。しかもし

だいに田畑は宅地造成などにより変容しつつあるが、今のところは公害におそわれることもなく、自然の緑の美しい心やすまる環境である。

4. 教育目標

本校の教育は、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざし、つぎのことがらを中心として展開する。

1. 科学性を身につける子ども
2. 豊かな心情をもつ子ども
3. つよい意志をそだてる子ども
4. じょうぶな体をつくる子ども

年度の重点 「考える子どもの育成」

「考える力をのばす」

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

- ア. 各教科 授業研究を通して深く考えながら学ぶ子どもを育成する。
- イ. 道 徳 年間授業計画に基き、指導法の研究を進める。
- ウ. 特別活動 集団活動を通して児童の自主性を高める。

(2) 生活指導の重点

よく考えて行動する子どもの育成につとめる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級 (訪問学級)	計
学級数	4	4	4	4	4	4	1	25
男	78	90	82	67	70	66	4年2 5年1	457
女	58	67	63	70	68	71	6年1	397
計	136	157	145	137	138	137	4	854

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研究教科	そ の 他
1	下 田 忍	52	校 長	44.4.1	社会・経営	
2	小野寺 東 雄	46	教 頭	46.4.1	理科・経営	
3	畠 中 逸 巽	60	1 - 1	37.4.1	国語	
4	山 口 和志子	46	1 - 2	43.4.1	理科	
5	清 水 和 恵	25	1 - 3	45.4.1	音楽徳図書	
6	三 村 礼 子	38	1 - 4	39.4.1	算数教育相談	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
7	清 雲 よ志子	52	2 - 1	44.4. 1	音楽	
8	酒 井 実	23	2 - 2	47.4. 1	体育・学校行事	
9	村 上 澄 江	46	2 - 3	45.4. 1	道德	
10	辻 田 静 江	43	2 - 4	43.4. 1	図画工作・図書	
11	上江洲 信 七	49	3 - 1	39.4. 1	道德	
12	吉 崎 幸 枝	35	3 - 2	39.4. 1	図画工作	
13	村 上 政 子	25	3 - 3	46.4. 1	理科・保健	
14	土 田 芳 夫	39	3 - 4	40.4. 1	社会・視聴覚	
15	高 木 映 子	38	4 - 1	47.4. 1	社会	
16	酒 井 栄 一	60	4 - 2	42.4. 1	図画工作・視聴覚	
17	今 野 みち子	49	4 - 3	42.5. 16	国語・保健	
18	片 野 茂 夫	29	4 - 4	46.4. 1	算数・学校行事	
19	青 柳 俊 夫	47	5 - 1	45.4. 1	体育・学校行事	
20	安 藤 和 枝	37	5 - 2	43.4. 1	家庭・給食	
21	原 田 昭	43	5 - 3	47.4. 1	体育・学校行事	
22	斎 木 昭 朗	39	5 - 4	41.9. 16	社会・児童活動	
23	上 山 洋一郎	42	6 - 1	42.4. 1	道德・教育相談	
24	三 浦 みのり	44	6 - 2	40.4. 1	国語・児童活動	
25	越 村 清 治	28	6 - 3	42.4. 1	社会	
26	村 田 麗 子	43	6 - 4	40.4. 1	算数・給食	
27	黒 田 弘 行	38	理 科	38.4. 1	理科・図書	
28	高 橋 晴 彦	37	音 楽	39.9. 1	音楽	
29	奈 良 悦 子	41	家 庭	41.4. 1	家庭・視聴覚	
30	松 井 玉 江	44	養 護	43.4. 1	保健	
31	上 田 博 文	37	事 務	47.4. 1	事務	
32	吉 村 達 也	25	事 務	47.4. 1	事務	
33	高 瀬 三 郎	57	特 殊	46.4. 1	特殊教育	
34	守 屋 ふ み	50	特 殊	46.4. 1	特殊教育	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	不 詳	昭和46年度	考える子どもの育成
昭和41年度	教材の系統制について		(教科・道德・特別活動を 通して)
昭和42年度	学校運営の能率化		
昭和43年度	学校運営の能率化,教育環境の整備	昭和47年度	考える子どもの育成
昭和44年度	教育環境の整備と活用		学年経営・学級経営・指導
昭和45年度	ひとりひとりを生かす生活指導		の重点・重点研究の3本柱

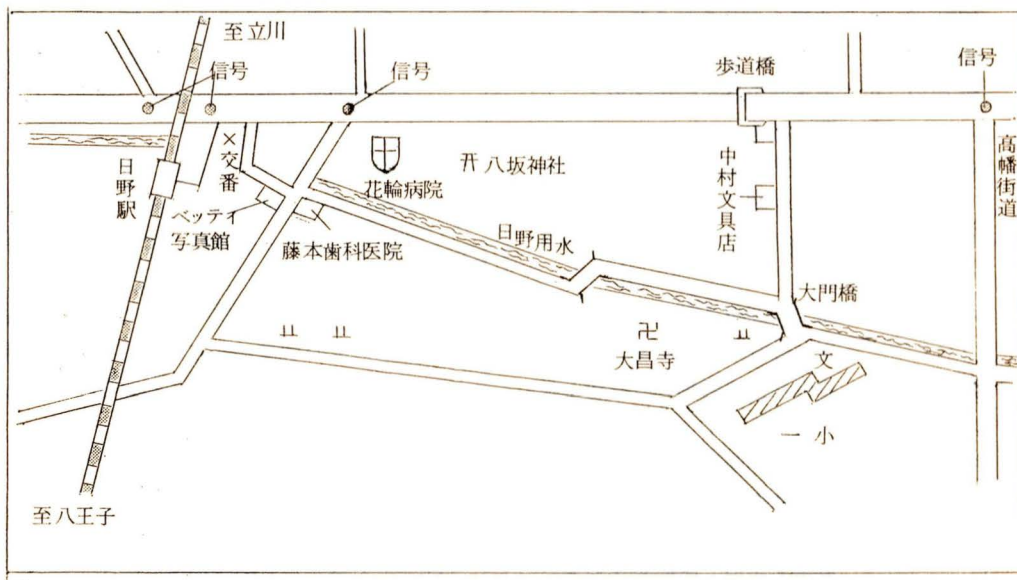
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和44年度	奈 良 悦 子	家 庭 科	研 究 員
昭和45年度	松 井 玉 江	養 護	研 究 員
昭和46年度	青 柳 俊 夫	体 育	研 究 員
昭和47年度	安 藤 和 枝	給 食	研 究 員

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	351	54	サ ー ビ ス 業	20	3
公 務 員	106	16	自 由 業	20	3
運 輸 通 信	40	6	そ の 他	20	3
農 業	12	2	無 職		
自 宅 商	43	7			
自 宅 工	40	6	計	652	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第二小学校
所在地 日野市豊田 218
電 話 0425-81-0070・0851
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 安 積 利 治

教頭氏名 近 内 信 輝

1. 沿革の概要

- 明治 7. 3 神奈川県 9 大区 4 小区豊田村
尋常小学校として創設、戸長
山口平大夫氏長屋を仮校舎に
する。
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下
2 等級に分け、下等小学校は
満 6 才より 9 才、上等小学校
は満 10 才より 13 才までとする。
- 明治 12. 2 豊田 1320 番地 善生寺の西隣
に新校舎建築。
- 明治 26. 4 東京府に編入される。
- 明治 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。
- 昭和 17 豊田 218 番地に新校舎建築。
- 昭和 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として
再び独立。
- 昭和 27. 12 第 1 次増築 2 階建 8 教室 276
坪 拡張工事 569 坪。
- 昭和 30. 4 日野町日野第二小学校と校名
変更。
- 昭和 31. 4 第 2 次増築 2 階建 6 教室 168
坪 拡張校地 366 坪。
- 昭和 38. 11 日野市立日野第二小学校と校
名変更。
- 昭和 43. 6 防音校築第 1 期工事完成。
- 昭和 44. 3 防音改築第 2 期工事完成。
- 昭和 45. 2 日野市指定研究「教材教具の
整備と活用」研究発表をおこ
なう。
- 昭和 46. 2 体育館工事落成。

- 昭和 46. 4 プレハブ教室 1 教室設置
昭和 46. 5 全教室テレビ配置
昭和 46. 12 体育倉庫新設

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 山 茂 平	昭 21. 6 ～ 27. 9
増 島 光 一	27. 10 ～ 34. 3
小 池 嘉 一	34. 4 ～ 38. 3
森久保 惣 次	38. 4 ～ 42. 3
後 藤 正 太	42. 4 ～ 47. 3
安 積 利 治	47. 4 ～

3. 地域の環境

- (1) 豊田の里といわれた中央線と浅川に囲
まれた静かな農村も、農家が 4 % と勤労
者住宅地帯と豊田駅付近の小商店街とに
かわった。
- (2) 学校前の都道をはじめ、学区内の道路
はどこも交通事情激化の波におされ、通
学路も危険にさらされ、児童の安全な遊
び場がなくなってしまった。
- (3) PTA の会員の質も大きく変わり、先
生まかせの学校のこともから、父母参観
のあとなど、相当つまこんだ質問もでる
ようになる。

4. 教育目標

- (1) からだも心も強く明るい子
(2) みんなと仲よく力をあわせられる子
(3) よく考え進んで行動する子
(4) 責任をもって最後までやりぬく子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

本校の児童に即した指導内容を精選重点化し適切な配列を考え、指導計画を作り、指導の徹底をはかる。本年度は第一年度として算数、体育をとりあげる。

イ. 道 徳

教育目標「責任をもってさいごまでやりぬく子」に関連し、次の項目を特に力を入れて指導し徹底をはかる。

・自主自律 ・自由と責任 ・不とう不屈 ・創意くふう ・愛校心

ウ. 特別活動

(ア) 委員会活動を4、5月集中的に指導し、定着をはかる。

(イ) 4年生の参加のしかたをふくめてクラブ活動の効果的な指導法をくふうする。

(ウ) 児童朝会を側面から指導し、その内容を高める。

(エ) 代表委員会、学級会および学級指導をととして自分で計画をたて、その実行に最後まで努力する態度を養う。

(2) 生活指導の重点

ア. 特別活動の学級会指導及び学級指導をととして自分で計画をたて、最後まで努力する態度を育てる。

イ. 交通事情の悪化に伴い、安全指導を重視し、父母との協力をよりいっそう推進する。

ウ. ものを大事にすることを、自分のものからみんなのもの、学校のものへと及ぼし、公共物を愛護する気持ちを養う。

(3) その他の配慮事項

ア. 教材教具の充実・整備をおこない、指導計画の再検討と相まってその活用、使用法をくふうする。

イ. 落ち着いた学習環境づくりに、校舎校庭の美化整備に努める。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	4	3	3	3	3	19
男	62	62	61	62	54	41	342
女	62	81	66	50	46	62	367
計	124	143	127	112	100	103	709

7. 教職員氏名

番号	氏 名	年令	受持学年	本校就任年月	研究教科	校 務 分 掌
1	安 積 利 治	55		47.4.1		
2	近 内 信 輝	48		47.4.1		
3	倉 石 桂	62	理 科	40.4.1	理科	教務主任
4	松 井 慶 吾	48	4 - 1	46.4.1	道徳	保健主事

番号	氏 名	年令	受持学年	本校就任年月	研究教科	校 務 分 掌
5	赤 石 享	48	2 - 2	42.4.1	国 語	生活指導
6	石 岡 信 行	47	6 - 2	45.4.1	国 語	研 修
7	高 島 和 子	45	6 - 3	45.4.1	国 語	図 書 館
8	峰 岸 サ ヨ	45	3 - 2	42.4.1	図 工	教 務
9	川 崎 照 子	44	1 - 4	47.4.1	道 徳	給 食
10	石 原 八重子	42	4 - 2	47.4.1	図 工	研 修
11	石 井 三 士	42	5 - 1	43.4.1	国 語	教 務
12	亀 山 恵之助	42	1 - 2	47.4.1	社 会	生活指導主任
13	田 村 利 樹	37	1 - 1	44.4.1	理 科	教 務
14	河 島 務	37	2 - 1	46.4.1	国 語	視 聴 覚
15	鶴 田 久美子	36	図 工	45.4.1	図 工	教 務
16	信 夫 清 彦	28	3 - 3	43.4.1	体 育	生活指導
17	武 内 和 江	26	5 - 2	46.4.1	社 会	教 務
18	石 川 正 子	25	1 - 3	45.4.1	家 庭	給 食
19	島 田 美代子	24	6 - 1	46.4.1	家 庭	視 聴 覚
20	芳 賀 アサ子	24	4 - 3	46.4.1	音 楽	生活指導
21	阿 部 えり子	23	2 - 4	45.4.1	体 育	生活指導
22	大神田 久美子	24	5 - 3	47.4.1	算 数	生活指導
23	小 林 美 子	23	音 楽	47.4.1	音 楽	教 務
24	田 中 容 子	23	3 - 1	47.4.1	算 数	図 書 館
25	中 村 久美恵	22	2 - 3	46.4.1	算 数	教 務
26	大 野 馨	39	事 務	43.4.1		事 務
27	倉 林 紀 子	32	養 護	46.9.1	保 健	保 健

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	生活指導の研究
昭和41年度	道徳の指導計画の作製
昭和42年度	道徳の指導計画の作製
昭和43年度	国語科における読解教材の効果的な指導法
昭和44年度	教材教具の効果的な整備と活用
昭和45年度	学級会活動における児童の自主性の育成
昭和46年度	学級会の話し合いの指導、国語科における読速力の指導

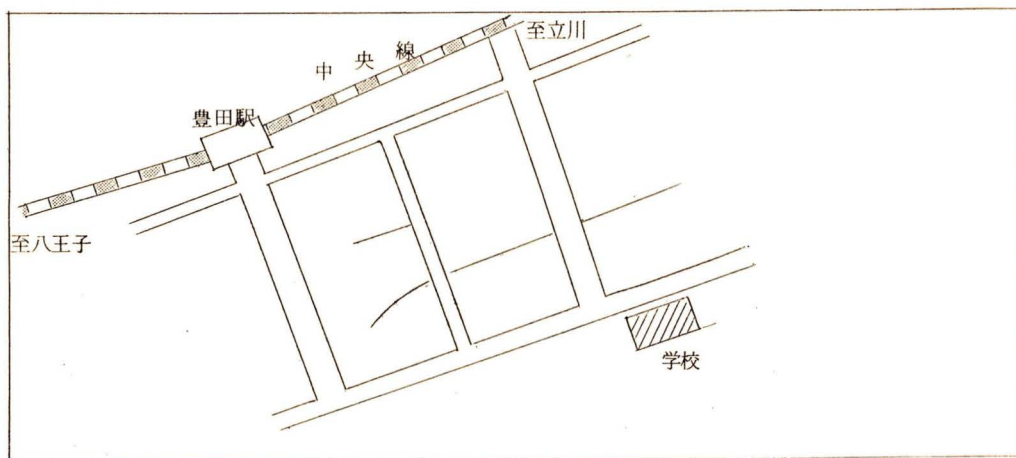
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和43年度	赤 石 享	給 食	研 究 員
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	研 究 員
〃	小 林 繁 人	学級経営	研 究 生

10. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 種	家 庭 数	%
企 業 経 営 者	11	2	労 務 的 従 業 者	50	9
専 門 技 術 的 職 業	114	20	サ ー ビ ス 従 業 者	26	5
管 理 的 職 業	49	9	農 林 漁 業 従 事 者	24	5
小 企 業 者	55	10	そ の 他	22	4
事 務 的 職 業	198	36	計	549	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第三小学校
所在地 日野市日野台2丁目1番地1号
電 話 0425-81-0101
順 路 中央線 日野-徒歩15分-学校

校長氏名 岩 井 庄 三

教頭氏名 与世田 兼 弘

1. 沿革の概要

昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として
設置される。児童1～3年
340名、教室4、全学年2部
授業。
昭 25. 6. 10 日野台小学校として独立する。
児童数696名、教室9、4年
生迄2部授業
昭 25. 7. 18 校章制定
昭 25. 9. 19 4教室増築、教室数13
3年まで2部授業
昭 27. 4. 15 4教室増築、教室数17
2年まで2部授業
昭 27. 6. 10 校歌制定
昭 28. 6. 10 校地850坪拡張、6教室増築、
教室数23、2部授業解消さ
れる。
昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
昭 32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増
築、教室数25、児童数869名
昭 32. 10. 7 給食調理室完成
昭 33. 8. 3 大小プール落成
昭 34. 3 校地1100坪拡張
昭 34. 5. 11 34年度東京都小学校理科教
育研究協力学校に指定される。

昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
昭 35. 6. 10 開校10周年記念日を迎え記
念式、祝賀会を催す。
昭 37. 4. 5 校門完成
昭 38. 11. 3 日野市制施行に伴い、日野市立
日野第三小学校と校名を変更。
昭 39. 6. 2 放送室、用務員室完成
昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式
昭 42. 9. 1 3年以上新校舎使用開始、順
次に木造旧校舎解体
昭 43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台
2丁目1番地1号
昭 44. 12. 20 学校北側の外柵落成
昭 45. 6 プレハブ2教室落成
昭 46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
昭 46. 4. 20 プレハブ2教室増設
昭 47. 3 プレハブ2教室増設

2. 歴代校長

氏 名

高野 忠正(事務取扱)昭 25. 6. 10～26. 3. 12
高野 忠正(校 長)昭 26. 3. 13～27. 9. 30
尾崎半次郎 昭 27. 10. 1～34. 3. 31
五十嵐保光 昭 34. 4. 1～37. 3. 31
塚本 正 昭 37. 4. 1～41. 3. 31
池田 瑞男 昭 41. 4. 1～47. 3. 31
岩井 庄三 昭 47. 4. 1着任

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔 800 m の日野台地及び多摩川沿いに平地を含む地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり、台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだてて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法に基づいて、民主的な社会人としての人間形成の基礎作りにある。

○ よく考えて勉強する子ども ○ 責任をはたす子ども ○ 健康で明るい子ども

5. 本年度指導の重点

学習指導

主体的に学習にとりくむことの育成

○ 魅力的な目標や課題をもたせる指導

○ こどもの創意くふうを大事にする指導

生活指導

学校生活のきまり「よい子の一日」の自主的な実践を通じて基本的生活態度の育成をはかる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特 殊	計
学級数	5	4	3	4	3	3	3	25
男	101	78	69	72	66	49	11	446
女	97	94	52	75	58	61	16	453
計	198	172	121	147	124	110	27	899

7. 教職員

※年令は昭和 47.3.31 現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
1	岩 井 庄 三	55		昭 47.4.1	学校経営	
2	與世田 兼 弘	53		44.4.1	学校経営	
3	戸 塚 春 男	49	専 科	41.4.1	図 工	
4	松日楽 敬 治	46	1 - 5	45.4.1	理 科	
5	落 合 茂 子	45	4 - 3	42.4.1	理 科	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
6	山 内 春 美	46	2 - 3	昭42.4.1	算 数	
7	橋 本 美千代	44	1 - 2	42.4.1	家 庭	
8	森 甫	45	専 科	43.4.1	音 楽	
9	広 瀬 邦 夫	45	6 - 1	41.4.1	社 会	
10	井 上 保	43	2 - 1	44.4.1	社 会	
11	藤 本 慶 康	43	4 - 1	47.4.1	体 育	
12	本 保 陽 子	43	5 - 3	44.4.1	理 科	
13	安 斉 満里子	40	3 - 1	41.4.1	社 会	
14	大 上 琢 磨	41	5 - 2	40.4.1	体 育	
15	高 野 浩	41	4 - 4	42.4.1	算 数	
16	田 村 和 子	36	3 - 2	40.4.1	社 会	
17	吉 川 都 子	29	1 - 1	42.4.1	社 会	
18	根 守 優 江	30	5 - 1	45.4.1	理 科	
19	森 山 誠	30	3 - 3	45.9.1	社 会	
20	津 金 久 子	25	2 - 4	45.4.1	算 数	
21	木 内 房 枝	25	1 - 3	45.4.1	音 楽	
22	青 柳 政 子	25	4 - 2	46.4.1	算 数	
23	八 田 博 子	24	6 - 2	46.4.1	算 数	
24	天 野 正 枝	22	専 科	46.9.1	家 庭	
25	山 田 一 夫	24	6 - 3	47.4.1	社 会	
26	中 村 美 子	23	2 - 2	47.4.1	算 数	
27	銀 鏡 明 子	23	1 - 4	47.4.1	理 科	
28	高 橋 陸	28	養 護	42.4.1	養 護	
29	飯 倉 千重子	55	特 殊	40.4.1	図 工	
30	高 井 くめ子	29	"	45.4.1	国 語	
31	大久保 友 詞	26	"	45.4.1	図 工	
32	佐 藤 隆 子	26	"	46.4.1	国 語	
33	石 川 聖 子	24	事 務	47.4.1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	道 徳
昭和41年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を国語科、理科を通して究明し、学力の充実を期す。
昭和42年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を究明し、学力の充実を期す。
昭和43年度	情緒の安定をはかり、基礎的生活態度を育成する。

昭和44年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。
昭和45年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。
昭和46年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。
昭和47年度	主体的に勉強や仕事にとりくむことの育成をはかる。

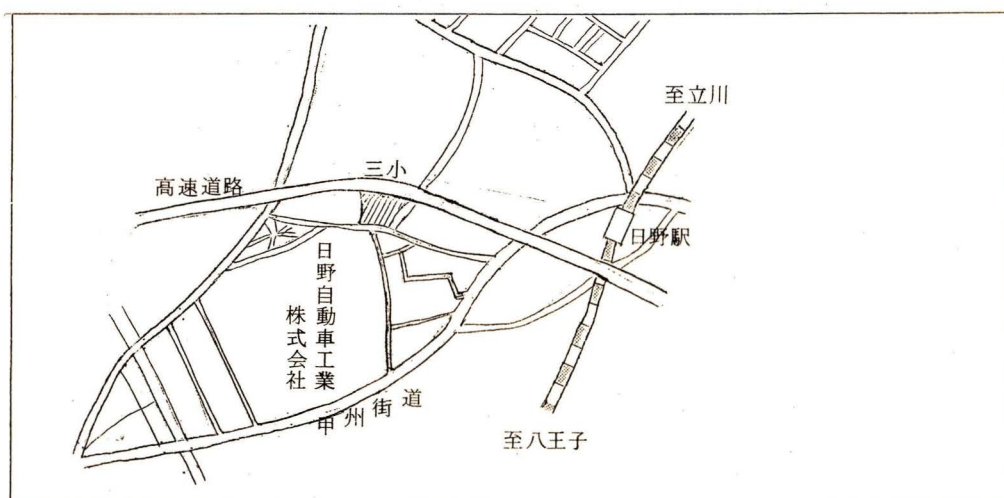
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和33年度	松 村 典 孝	国 語	研 究 員
昭和37年度	溝呂木 桂 次	理 科	”
昭和37年度	広 瀬 邦 夫	社 会	研究派遣生
昭和38年度	原 田 成 大	特 殊	研 究 員
昭和41年度	松日楽 敬 治	理 科	研 究 員

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
専門的技術的職業	41	6	技能 的 職 業	204	29
管 理 的 職 業	63	9	運 輸 通 信 的 職 業	44	6
事 務 的 職 業	256	37	保 守 的 職 業	9	0.6
販 売 的 職 業	50	7	サ ー ビ ス 的 職 業	21	3
農業・林業などの職業	17	2	無 職 そ の 他	8	0.4
漁 業	0	0	計	713	

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第四小学校
所在地 日野市石田 430 番地
電 話 0425-81-0038
順 路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩 7 分
立川駅北口から多摩動物園行バス 四小
前下車 徒歩 2 分

校長氏名 内 藤 達 夫

教頭氏名 佐 藤 勝 次

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 下田学舎
21.11. 下田小学校
41. 3. 日野小学校下田分校場
29. 8.18 校地決定 425914 坪
30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開
校記念日とする。
昭 30.12.22 校章制定
30.12.25 第三期校舎竣工
31. 3. 5 校旗完成
32.11.20 学校給食開始
35. 7.20 プール落成式並祝賀会
36. 3.26 第三期校舎落成式
36.11. 1 校歌発表会、以後この日を開
校記念日とする。
39. 6.10 校地拡張及防音校舎に改築が
決定
40. 3.31 防音校舎 9 教室完成
41. 3.31 防音校舎第 2 期工事完了
14 教室完成
41. 7. 9 防音校舎落成、独立 11 周年
下田学舎創立 92 周年記念式
典
43.11.27 統計教育研究指定校として研
究発表会をする。(都、市指
定校)
45. 3.31 体育館落成
防音校舎 7 教室増築完成

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
浦 上 増太郎	昭 30.3.29 ~ 36.3.31
田 中 善 次	36.4. 1 ~ 44.3.31
森 巖	44.4. 1 ~ 47.3.31
内 藤 達 夫	47.4. 1 ~

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角
地帯、9 地区 1900 戸である。甲州街道か
ら約 1 km 南にへだたった多摩川あたりにく
らいし、田畑に囲まれ、前面に中央高速道
路が走っている。米どころ日野の田園地帯
と多摩川梨の産出地域である。
万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が漸次
進められ田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校のエ育目標

地域社会の特性を活かし、児童の実態
を把握し、個性と能力に即し、児童の日
常生活を基盤として次の事項を目標とす
る。

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 1. 丈夫な身体で | 健康安全教育。 |
| 2. いつも元気に | 明朗で活動的な人
間の育成。 |
| 3. 何事も自分で考え | 真実を求め科学す
る心の育成。 |
| 4. 仲よく | 人間尊重と協力奉
仕する民主的社會
人の育成。 |

5. 学びましょう。 自主的学習態度の養成と基礎学力の充実。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア、学年会を研究的に進め、教師間の共通理解を深めながら指導性を高め目標の達成を図る。

イ、あらゆる生活場面で、教師と児童との心の交流を図りながら児童の自主的な学習意欲を高めていく。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア、各教科

自主的学習態度を重視して学力の向上をはかる。

イ、道 徳

1. 生命を尊重し健康の増進と安全の保持につとめることができるようにする。
2. よいと思ったことは進んで実行し、強い意志と責任感をもって最後までやり通すようにする。

ウ、特別活動

各種の活動計画と実践のくふうをはかり、連帯感、所属感を育てる、

- ・児童活動……児童の自主的、実践的な態度を育て個性の伸長をはかる。
- ・学級指導……統一ある指導計画に基づき、学級の実態に即した指導を徹底させる。
- ・学校行事……行事内容の精選と効果的な運営により集団への連帯感や規律ある行動の実践をはかる。

(2) 生活指導の重点

集団生活をととして個々の児童の生活態度の向上を図りながら教育課程が能率的、効果的に実施されるように努める。

〔具体目標〕 学校生活を楽しくするために、学級、学校のきまりをたいせつに考え行動する子どもを育てる。

(1) 個々の児童の能力、特性に応じた個別指導に力を入れる。

(2) 学級、学校集団の質を高めるための集団指導に力を入れる。

6. その他の配慮事項

(1) 日課時程の一単位時間を45分とする。ただし冬季は通学距離と時間を考慮し一単位時間を40分とする。

(2) 朝の児童集会活動を充実し、教師と児童、児童間の心の結びつきと体力の向上に努める。

(3) 児童とともに環境の美化につとめる。

7. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	3	3	4	3	3	3	19
男	54	62	76	54	49	46	337
女	63	63	60	57	65	53	360
計	117	125	136	111	114	99	697

8. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	その他
1	内 藤 達 夫	52		47. 4. 1	経営	
2	佐 藤 勝 次	48		46. 4. 1	経営、理科	
3	鈴 木 正 子	27	1 - 1	43. 4. 1	国語	
4	堀 内 弘	27	1 - 2	43. 4. 1	国語	
5	高 倉 教 行	44	1 - 3	45. 4. 1	国語、生活	
6	舞 田 章 子	43	2 - 1	41. 4. 1	体育、給食	
7	宮 沢 美恵子	27	2 - 2	43. 4. 1	国語、視聴覚	
8	大 熊 喜 一	44	2 - 3	42. 4. 1	算数、教務	
9	杉 本 瑛 之	46	3 - 1	44. 4. 1	理科	
10	色 川 和 代	26	3 - 2	47. 4. 1	社会	
11	雨 宮 一 好	28	3 - 3	42. 4. 1	体育	
12	和 田 愛 子	23	3 - 4	47. 4. 1	国語	
13	板 谷 敏	44	4 - 1	46. 4. 1	社会	
14	斉 藤 弥 生	26	4 - 2	47. 4. 1	家庭	
15	中 尾 奉 子	28	4 - 3	46. 11. 1	音楽	
16	逸 見 政 一	34	5 - 1	41. 4. 1	体育	
17	田 中 久 子	28	5 - 2	42. 4. 1	体育	
18	古 谷 二三子	45	5 - 3	39. 4. 1	家庭、図書	
19	日下部 芳 子	52	6 - 1	43. 4. 1	算数	
20	仲二見 洋 子	45	6 - 2	42. 4. 1	特活、行事	
21	上 野 森 良	42	6 - 3	43. 4. 1	特活、教育相談	
22	鹿島田 恭 江	35	理 科	40. 4. 1	理科	
23	村 田 那智子	34	音 楽	46. 4. 1	音楽	
24	渡 辺 芳 郎	50	図 工	39. 4. 1	図工	
25	時 女 久 子	26	養 護	42. 4. 1	保健	
26	川 口 真 弓	33	事 務	43. 4. 1	事務	
27	高 橋 始 江	24	休 職	46. 4. 1		

9. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教育技術の研究（研究授業年8回実施）
昭和41年度	研究授業の励行、指導案作成の研究
昭和42年度	都、市研究協力校 統計教育
昭和43年度	全 上 ”
昭和44年度	国語科を中心とした読解力指導の充実をはかる
昭和45年度	読み、解く力をつけるための基礎的指導をどのように進めたらよいか。
昭和46年度	児童の自主性を生かした学習指導

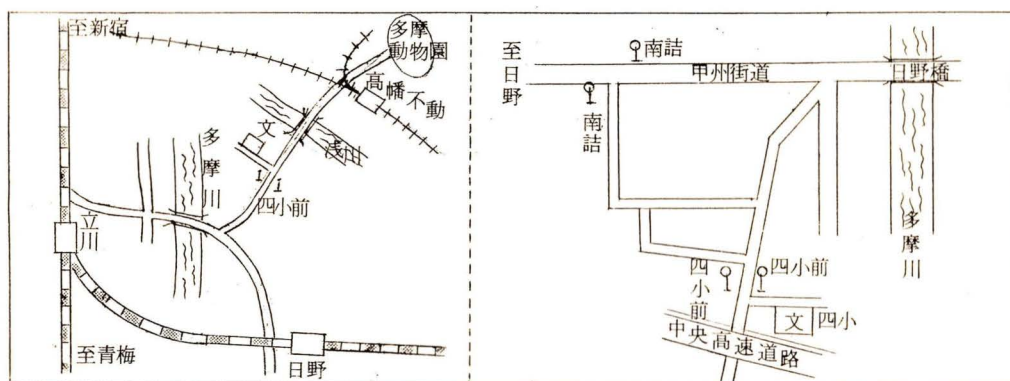
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研 究 員、研 究 生 別
昭和32年度	高 瀬 三 郎	算 数	研 究 員
昭和32年度	新 井 忠三郎	音 楽	〃
昭和37年度	井之下 茂	体 育	〃
昭和38年度	加 藤 隆 輔	図 工	〃
昭和42年度	渡 辺 芳 郎	図 工	〃
昭和46年度	亀 山 恵之助	特 活	〃

11. 父母の職業（家庭数） （昭和47年度4月調）

	工 員	事 務 員	公 務 員	管 理 職	交 運 通 輸	農 業	自 宅 商	自 宅 工	そ の 他	合 計	共 稼 ぎ	留 家 守 庭
1	29	19	7	1	2	8	5	8	0	74	22	18
2	16	17	7	2	7	1	4	1	4	59	36	22
3	25	19	6	3	5	1	6	5	4	74	29	22
4	14	26	7	2	3	4	3	6	9	74	31	18
5	24	22	8	2	3	6	6	9	6	86	38	19
6	25	9	5	8	12	8	3	20	2	92	26	17
計	133	112	40	18	32	23	27	49	25	459	182	116
%	29.0	24.4	8.7	3.9	6.9	5.1	5.9	10.0	5.4	100	39.6	25.2

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第五小学校

所在地 日野市多摩平 6-21-1

電話 0425-81-0445・0407

順路 豊田駅北口より京王バス立川、日野駅行き
五小前にて下車

校長氏名 荒井 一 男

教頭氏名 深 沢 真 人

1. 沿革の概要

昭和34年4月1日8学級269名の児童職員11名で開校、昭和43年7月16日の新・新校舎落成まで第8期の工事を経て学級数35、職員44、市職14名、児童数1,404名の現在に至る。

児童数の急増により昭和39年4月に芝山分校創立創立、翌年日野第六小学校として独立。過密にあえぐ本校の歴史はそのまま第8期までの増改築の歴史でもあった。

5人の歴代校長のべ129人の職員、12,092名の卒業生などこの13年間の膨張の一断面である。こうした環境の中にありつつも着実な教育活動は続けられ、昭和39年都学校花壇の協力校として昭和40年までの2年間、環境美化と情操教育にその実績をあげ、昭和41年学校と家庭の教育上の協力というテーマのもとに都の研究協力校として研究、実践を深め、発表など地域学校ぐるみの教育が今も着実に進められている。

2. 歴代校長

氏 名

増 島 光 一 昭34.4.1～昭36.3.31

浦 上 増太郎 昭36.4.1～昭39.3.31

福 寿 文 雄 昭39.4.1～昭42.3.31

星 野 正 男 昭42.4.1～昭47.3.31

荒 井 一 男 昭47.4.1～

3. 地域の環境

昭和33年日本住宅公団により日野台地

が切り開かれ、多摩平団地誕生。この中に第五小学校がある。南は中央線、北は国道20号線（甲州街道）にはさまれ、バス網の発達に伴い交通は便利である。

団地の住宅以外に分譲住宅、都営住宅などのかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場など整備され、立木、芝生にかとまれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。父母群も会社員、公務員などが約80%、その学歴も大学卒が約60%と家庭環境にもめぐまれているといえる。

4. 教育目標

心身ともに強健で	心とからだをきたえます
自主性と創造性に富み	
勤労と責任を重んじ	
規律正しく協力して	よく考えて学びます
社会生活に貢献する	
児童の育成を期する	なかよく力を合わせます

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア、各教科

昨年度に引き続き、各教科の学習における児童の思考力の伸長を期する。

イ、道徳

本校の道徳の年間指導計画を、日野

市道徳年間指導計画の手びきに照らして改善をはかり、児童の道徳的心情を豊かにし、実践意欲の向上を図る。

ウ、特別活動

昭和46年度に完成した特別活動の年間指導計画に基づき、児童の望ましい集団生活を通して実践的態度を育てる。

エ、養護・訓練

(2) 生活指導の重点

年間指導計画の改善を図り、児童と教師、児童相互の人間関係を深めながら、個々の児童に基本的行動様式を身につけさせる。

6. 児童数

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	6	6	5	6	6	6	35
男	134	129	93	129	98	113	696
女	118	120	102	121	133	114	708
計	252	249	195	250	231	227	1,404

7. 教職員

(年令は47年3月31日現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
1	荒 井 一 男	54	校 長	47.4.1	理 科	
2	深 沢 真 人	48	教 頭	46.4.1	国 語	
3	内 藤 まつ代	44	1 - 1	45.4.1	道 徳	
4	川 端 啓 子	23	1 - 2	47.4.1	家 庭	
5	厚 坊 ヒデ子	38	1 - 3	47.1.1	音 楽	
6	大 竹 三 郎	46	1 - 4	45.4.1	特 活	
7	小 林 和 子	29	1 - 5	44.4.1	国 語	
8	逸 見 黎 子	29	1 - 6	47.4.1	体 育	
9	堀 フ サ	57	2 - 1	36.4.1	道 徳	
10	水 上 由美子	26	2 - 2	44.4.1	理 科	
11	吉 村 シ メ	27	2 - 3	45.4.1	図 工	
12	柴 田 静 枝	31	2 - 4	44.4.1	国 語	
13	小板橋 五佐男	44	2 - 5	40.4.1	算 数	
14	栄 久 子	25	2 - 6	46.4.1	算 数	
15	井 尻 武 子	43	3 - 1	41.4.1	音 楽	
16	河 津 正 幸	24	3 - 2	46.4.1	算 数	
17	渡 辺 久 子	25	3 - 3	47.1.1	社 会	
18	中 川 金 作	47	3 - 4	44.4.1	道 徳	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
19	関 根 敦 子	40	3 - 5	43.4.1	国 語	
20	前 川 花 子	45	4 - 1	39.4.1	特 活	
21	海 野 とし子	24	4 - 2	46.4.1	社 会	
22	藤 崎 健 児	44	4 - 3	45.4.1	算 数	
23	小 俣 政 治	58	4 - 4	42.4.1	体 育	
24	西 川 朝 子	26	4 - 5	46.4.1	理 科	
25	塩 津 孝 子	25	4 - 6	47.4.1	図 工	
26	三 浦 勝 也	43	5 - 1	38.4.1	特 活	
27	小 室 恆	27	5 - 2	47.4.1	国 語	
28	前 川 せ つ	45	5 - 3	47.4.1	社 会	
29	佐々木 守 夫	42	5 - 4	46.4.1	体 育	
30	松 田 貴美子	24	5 - 5	46.4.1	国 語	
31	田 中 博	24	5 - 6	47.4.1	体 育	
32	赤 池 正 人	36	6 - 1	43.4.1	特 活	
33	藤 森 三 治	39	6 - 2	46.4.1	国 語	
34	中 村 志 美	25	6 - 3	46.4.1	算 数	
35	福 地 保	43	6 - 4	41.4.1	理 科	
36	松 村 タケ子	46	6 - 5	46.4.1	道 徳	
37	中 村 大	41	6 - 6	45.4.1	社 会	
38	岡 田 充 生	27	理 科	43.4.1	理 科	
39	小 林 貴美子	27	音 楽	43.4.1	音 楽	
40	浜 野 優 子	28	音 楽	46.4.1	音 楽	
41	本 荘 正 雄	59	図 工	41.4.1	図 工	
42	林 茂 子	27	家 庭	43.4.1	家 庭	
43	富 樫 容 子	23	養 護	46.4.1	養 護	
44	川 崎 浩	27	事 務	46.4.1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	自主的生活態度の完成と実践化(市) 教材教具資料の収集と活用、基礎学力の充実
昭和41年度	学校と家庭の教育上の協力(都)(市) 花壇の整備(都)
昭和42年度	道徳の指導計画の作成、指導内容の精選
昭和43年度	道徳の指導法のくふうと資料整備、基本的行動様式の実践、体力増強のための計画と実践

昭和44年度	生活指導における基本的行動様式の実践指導 特に特別教育活動との関連で計画の再検討と特活の年間計画の作成
昭和45年度	学力の定着をめざした指導法のくふうと指導の実践
昭和46年度	各教科の学習における児童の思考力の伸長をはかるくふうと指導の実践
昭和47年度	特別活動の年間指導計画に基づき児童の望ましい集団生活を通して実践的態度を育てる。

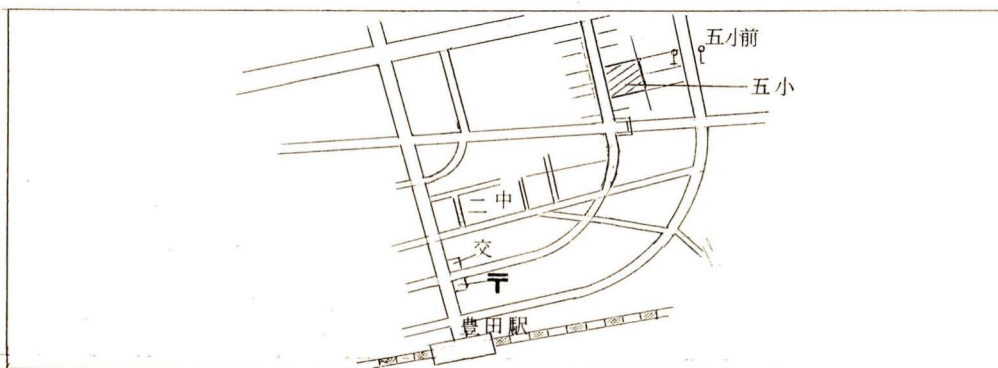
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和36年度	石 川 実	国 語	研 究 員
昭和39年度	黒 沢 保 雄	社 会	〃
昭和39年度	堀 フサ子	給 食	〃
昭和40年度	関 口 忠 子	家 庭	〃
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	〃
昭和45年度	小坂橋 五佐男	算 数	〃
昭和45年度	三 浦 勝 也	特 活	〃
昭和47年度	藤 崎 健 児	算 数	〃
昭和39年度	大 熊 喜 一	算 数	研 究 生
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	〃

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	647	61	自 宅 商	57	5
公 務 員	121	11	自 宅 工	19	2
教 職 員	85	8	無 職	5	0
工 員	18	2	そ の 他	83	8
運 輪	30	3	計	1,065	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第六小学校
所在地 日野市多摩平3丁目2番地
電話 0425-81-4868・0366
順路 中央線豊田駅北口下車徒歩12分

校長氏名 新海圭三

教頭氏名 黒沢保雄

1. 沿革の概要

- 昭39.4.1 日野第五小学校芝山分校として設置 児童1年～3年7学級263名
- 昭40.4.1 日野第六小学校として開校
初代校長として平山小学校長加々美良英就任
14学級 児童数515名
教職員21名
- 昭40.9.6 プール完成(6コース 25m)
- 昭42.2.21 校歌の発表会
- 昭43.2.22 児童の体力づくりの研究発表会
- 昭43.3.31 校長加々美良英退職
- 昭43.4.1 国立市国立第一小学校校長峰岸敬次郎2代校長として就任
- 昭43.6.19 南校舎(普通教室11、職員室校長室)完成
- 昭43.11.6 第13回学研教育賞を受ける。
- 昭44.3. 校地の土どめ工事完成
- 昭45.2.28 屋内体育館完成
- 昭45.3.16 落成式挙行(学校、PTA共催)
- 昭46.3.31 校長峰岸敬治郎滝合小学校長として転出
- 昭46.4.1 中野区上高田小学校新海圭三第三代校長として就任
- 昭46.4.1 日野市科学センター校
- 昭47.2.28 正門前補装、北西門取付
- 昭47.3. 児童の社会性育成の実践指導(市研究協力校)

2. 歴代校長氏名

- 加々美良英 昭40.4.1～昭43.3.31
峰岸敬次郎 昭43.4.1～昭46.3.31
新海圭三 昭46.4.1～

3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し、公団住宅と分譲住宅よりなり、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが交通事情等は他の日野の学校と比べてよい方である。

4. 教育の目標

本校の教育は法規にもとづき地域社会の特性をふまえ、児童の個性と能力に応じてつぎのことをめざして行なわれる。

- (1) たくましい身体と心をきたえる。
- (2) がんばりぬく心を養う。
- (3) 考えながら学ぶ。
- (4) しっかり働く。
- (5) みんなと仲よく。
- (6) 生き物を育てる。

5. 本年度指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点
ア、各教科

- ① 市指導計画を参考にし、本校独自のものづくりへの努力をする。
- ② 授業研究、教材研究をし、基礎学力の徹底をはかる。
- ③ 教材、教具資料を創意くふうして整備し、効果的な活用をはかる。

イ、道 徳

- ① 市指導計画を参考にし、各項目の系統を明確にして内面化実践への意欲づけをはかる。
- ② 他領域との関連のなかで特に実践への意欲をのばす。

ウ、特別活動

- ① 児童活動などをととして、児童が個性をのばし、協力してよりよい集団をつくろうとする活動をくふうする。
- ② 全体計画を明確にして、指導内容および時間の効率化をはかる。

(2) 生活指導の重点

児童相互および児童、教師の人間関係を深めるため

- ① 「学校のきまり」を中心とした実践指導
- ② 「事故のない日」づくりへの努力

(3) その他の配慮事項

- ① 児童とともにつくる教育環境へのくふうをする。
- ② 新しい学校づくりへ向かっての試行。

6. 児童数 (47.4.10)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	5	5	5	5	4	29
男	93	91	117	88	106	70	565
女	99	119	100	93	90	71	572
計	192	210	217	181	196	141	1,137

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研 究 教 科	そ の 他
1	新 海 圭 三	53	校 長	46. 4. 1	経 営	
2	黒 沢 保 雄	47	教 頭	46. 4. 1	経 営	
3	斉 藤 八重子	42	1 - 1	43. 4. 1	体 育	
4	来 間 志 信	31	1 - 2	43. 4. 1	国 語	
5	塚 本 喜美子	31	1 - 3	45. 4. 1	国 語	
6	谷 口 いづみ	26	1 - 4	45. 4. 1	図 工	
7	和 田 国 平	45	1 - 5	41. 4. 1	道 徳	
8	長 田 正 夫	32	2 - 1	45. 4. 1	社 会	
9	上 条 浩 子	27	2 - 2	44. 4. 1	算 数	
10	小 野 博 子	45	2 - 3	44. 4. 1	理 科	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研 究 教 科	そ の 他
11	岩 尾 照 夫	44	2 - 4	40. 4. 1	算 数	
12	広 沢 フサ子	34	2 - 5	43. 4. 1	国 語	
13	阪 本 緑	33	3 - 1	45. 4. 1	算 数	
14	高 橋 寿美子	45	3 - 2	40. 4. 1	図 工	
15	江 口 耕 一	40	3 - 3	40. 4. 1	国 語	
16	草 刈 喜 一	38	3 - 4	46. 4. 1	体 育	
17	原 田 美智子	27	3 - 5	47. 4. 1	道 徳	
18	藤 田 孝 彦	39	4 - 1	47. 4. 1	道 徳・特 活	
19	老 沼 義 晴	23	4 - 2	47. 4. 1	体 育	
20	清 水 しずか	41	4 - 3	40. 4. 1	国 語	
21	西 条 淑 子	52	4 - 4	42. 4. 1	社 会	
22	山 下 美美子	27	4 - 5	45. 4. 1	図 工	
23	古 谷 洋 太	46	5 - 1	47. 4. 1	理 科	
24	村 西 和 子	23	5 - 2	47. 4. 1	理 科	
25	塩 浦 玲 子	26	5 - 3	44. 4. 1	図 工	
26	今 野 すみ子	40	5 - 4	47. 4. 1	家 庭	
27	原 祐 房	27	5 - 5	45. 4. 1	社 会	
28	山 添 邦 男	29	6 - 1	47. 4. 1	社 会	
29	当 間 糸 子	42	6 - 2	40. 4. 1	家 庭	
30	乗 越 邦 生	25	6 - 3	46. 4. 1	算 数	
31	横 山 愛 子	25	6 - 4	45. 4. 1	理 科	
32	永 井 一 郎	36	理 - 科	44. 4. 1	理 科	
33	曾 我 哲 夫	41	音 楽	43. 4. 1	音 楽	
34	藤 野 祥 子	26	音 楽	46. 4. 1	音 楽	
35	長 沢 和 子	49	図 工	46. 4. 1	図 工	
36	上 山 美智子	36	養 護	40. 4. 1	保 健	
37	広 池 誠	30	事 務	41. 12. 1	事 務	

8. 本校における研究主題の推移

昭和40年度	児童と父母を対象とした実態調査
昭和41年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための実践について
昭和42年度	児童のたくましい身体をきたえるための指導の具体化と実践について 市指定
昭和43年度	各教科道徳の教材配列及び教科内容の充実
昭和44年度	自ら考える意欲を高め思考力を伸す学習指導について

昭和 45 年度	児童の社会性育成の実践指導 学級指導と関連して
昭和 46 年度	児童の社会性の育成 学校教育目標の達成をめざして（市研究協力校）
昭和 47 年度	考えさせる授業方法の研究

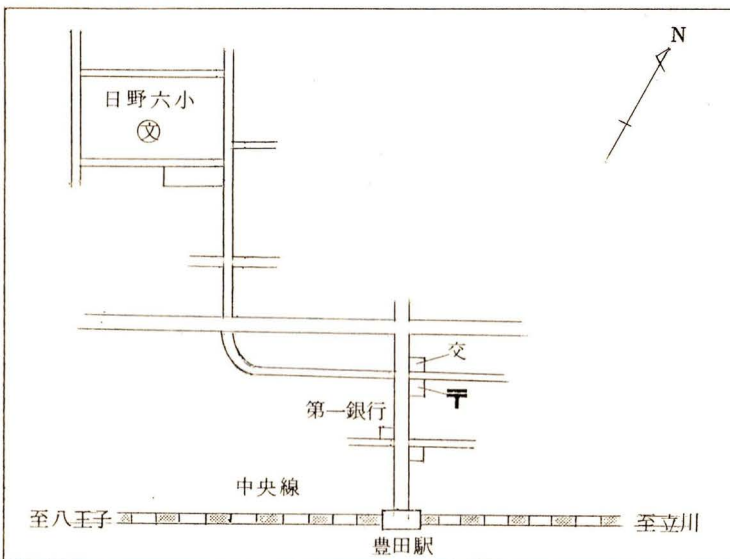
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和 43 年度	岩 尾 照 夫	算 数	研 究 生（学大）
昭和 43 年度	上 山 美智子	養 護	教育研究員
昭和 45 年度	高 田 敏	給 食	〃

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
農 業	0	0	団 体 職 員	43	5.0
工 業	35	4.1	会 社 員	527	62.2
商 業	55	6.4	医 師	5	0.6
運 輸 交 通 業	23	2.7	そ の 他	40	4.7
国 家 公 務 員	35	4.1	無 職	5	0.6
地 方 公 務 員	82	9.6	計	850	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立潤徳小学校
所在地 日野市高幡 402 番地
電 話 0425-91-0409・0410
順 路 京王線高幡不動駅下車 北へ徒歩 4 分

校長氏名 星 野 正 男

教頭氏名 梅 田 茂

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
- 明 11.11 三沢 701 番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築す。
- 明 20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 42. 5 昭栄尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
- 昭 16. 4 校名を潤徳国民学校と変更。
- 昭 22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭 27. 5 創立 80 周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成す。
- 昭 30.10 学校保健委員会が都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭 33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭 38.11 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90 周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭 40.12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭 41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止

- 昭 44. 2 屋内体育館落成
- 昭 44. 9 日野市立第八小学校分離
- 昭 44.10 百草台分校併設
- 昭 45. 4 百草台分校独立日野市立百草台小学校となる。
- 昭 46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
- 昭 46. 4 普通教室 9 教室、学校図書館 2 教室分）増築
- 昭 47. 4 プレハブ教室増築

2. 歴代校長

- | 氏 名 | 年 月 |
|-------------|-------------------|
| 初代 大塚四郎右衛門 | 創 立 |
| 2代 覚 井 諦 暁 | 明 19.12 ~ 明 11.11 |
| 3代 和 田 作太郎 | 明 11.11 ~ 明 15.11 |
| 4代 土方 喜久太郎 | 明 15.11 ~ 明 17. 2 |
| 5代 宮 倉 保五郎 | 明 17. 2 ~ 明 19.10 |
| 6代 小 宮 太之助 | 明 19.10 ~ 明 20.10 |
| 7代 須 崎 和 蔵 | 明 20.10 ~ 明 31. 2 |
| 8代 小 宮 彌一郎 | 明 31. 2 ~ 明 34. 4 |
| 9代 加 藤 菊次郎 | 明 34. 4 ~ 明 36. 1 |
| 10代 佐 藤 良 輔 | 明 36. 1 ~ 明 42. 4 |
| 11代 沖 倉 与 一 | 明 42. 4 ~ 明 43. 4 |
| 12代 荒 木 田大夫 | 明 43. 5 ~ 明 45. 3 |
| 13代 小 宮 彌一郎 | 明 45. 4 ~ 大 12. 3 |
| 14代 平 杉 蔵 大 | 大 12. 4 ~ 大 13. 3 |
| 15代 矢 沢 久 司 | 大 13. 3 ~ 大 14. 9 |
| 16代 小 泉 栄 一 | 大 14.10 ~ 昭 3. 3 |
| 17代 広 井 博 | 昭 3. 4 ~ 昭 7. 9 |

18代	重 松 正 顕	昭 7. 9～昭 14. 7
19代	鈴 木 慶 蔵	昭 14. 7～昭 22. 2
20代	赤 坂 元 春	昭 22. 2～昭 27. 9
21代	塚 本 正	昭 27. 10～昭 37. 3
22代	尾 崎 半次郎	昭 37. 4～昭 41. 3
23代	塚 本 正	昭 41. 4～昭 43. 3
24代	溝呂木 桂 次	昭 43. 4～昭 47. 3
25代	星 野 正 男	昭 47. 4～ 現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北には浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に丘陵地帯には公団住宅や分譲住宅の造成が盛んに行なわれ、田園にも都営団地や住宅がふえ、過密化の傾向にあり、農業に従事する保護者の割合は約3%である。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故もふえている。休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等に行楽客も多い。

4. 教育目標

- 敬 愛 健 康 — 心もからだもつよい子
- 自 主 — 何でも自分から進んで行なう子
- 自 由 責 任 — 自分のつとめをはたす子
- 規 律 — きまりを正しくする子
- 勤 労 礼 儀 — あいさつとことばづかいに気をつける子

5. 本年度指導の重点

・学習指導

1. 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア、各教科

- ・指導内容を検討し指導方法を改善する。
- ・教材、教具の活用をはかり学習の効果を高める。

イ、道 徳

- ・児童の実態に応じた道徳性を高める。

ウ、特別活動

- ・組織と運営を確立する。
- ・各種委員会の常時活動をととして児童の自主性を高める。
- ・学級指導をととして好ましい人間関係を育てる。

2. 生活指導の重点

- ・児童ひとりひとりを見つめ、教師と児童との心の交流をはかる。
- ・学校生活のきまりなどの規律を守る習慣をつける。

- ・安全教育の徹底をはかる。

3. その他の配慮事項

- (1) 1単位時間を45分とし、日課時程は季節を考慮する。
- (2) 朝会に体育音楽を指導する時間を設定し、体力の向上と情操を豊かにする。
- (3) 環境美化に留意し、望ましい学習環境づくりに努力する。
- (4) 学校図書館を充実し、読書指導を推進する。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	7	7	5	5	5	4	33
男	156	134	99	116	119	91	715
女	132	146	113	94	84	67	636
計	288	280	212	210	203	158	1,351

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	星 野 正 男	57	校 長	47.4. 1	経 営	
2	梅 田 茂	46	教 頭	47.4. 1	国 語	
3	石 井 和 子	45	1 - 1	44.4. 1	道 徳	
4	石 原 美 代	26	1 - 2	47.4. 1	体 育	
5	斉 藤 イ ク	63	1 - 3	37.4. 1	音 楽	
6	力 丸 としえ	23	1 - 4	47.4. 1	理 科	
7	佐 藤 ユ ウ	38	1 - 5	42.4. 1	社 会	
8	森 田 悦 子	23	1 - 6	47.4. 1	国 語	
9	石 川 成 子	33	1 - 7	45.9.16	家 庭	
10	天 野 七 郎	48	2 - 1	45.4. 1	算 数	
11	坂 井 和 子	48	2 - 2	40.4. 1	国 語	
12	後 藤 楚 子	35	2 - 3	45.4. 1	算 数	
13	茅 野 とめ子	27	2 - 4	46.4. 1	算 数	
14	大 浦 真知子	26	2 - 5	44.9. 1	算 数	
15	土 方 淳 子	26	2 - 6	45.4. 1	理 科	
16	河 村 令 子	24	2 - 7	46.4. 1	体 育	
17	小笠原 康 夫	26	3 - 1	44.9. 1	体 育	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
18	吉 野 美和子	28	3 - 2	4 3 . 4 . 1	社 会	
19	小 川 雪 子	46	3 - 3	4 7 . 4 . 1	国 語	
20	小 山 節 子	29	3 - 4	4 6 . 4 . 1	国 語	
21	田 森 佈 詮	44	3 - 5	4 5 . 5 . 1 6	国 語	
22	伊 藤 清 子	43	4 - 1	4 5 . 4 . 1	算 数	
23	田 島 英美子	26	4 - 2	4 6 . 9 . 1	算 数	
24	中 野 弥 生	26	4 - 3	4 7 . 1 . 1	国 語	
25	間 瀬 静 夫	25	4 - 4	4 7 . 4 . 1	社 会	
26	宮 田 光 義	23	4 - 5	4 7 . 4 . 1	国 語	
27	清 水 七 郎	41	5 - 1	4 0 . 4 . 1	特 活	
28	小山田 穰	25	5 - 2	4 5 . 9 . 1	特 活	
29	川 上 卓 一	25	5 - 3	4 5 . 4 . 1	理 科	
30	秋 間 美恵子	23	5 - 4	4 7 . 4 . 1	理 科	
31	武 内 忠 雄	26	5 - 5	4 4 . 4 . 1	特 活	
32	須 藤 貞 雄	47	6 - 1	4 4 . 4 . 1	体 育	
33	進 真 郎	45	6 - 2	4 1 . 4 . 1	体 育	
34	新 沼 英 樹	40	6 - 3	4 5 . 4 . 1	理 科	
35	和 田 いさを	30	6 - 4	4 0 . 4 . 1	音 楽	
36	森 清 晃	46	理 科	4 7 . 4 . 1	理 科	
37	村 上 悦 子	36	音 楽	4 1 . 4 . 1	音 楽	
38	小 堀 こうこ	23	音 楽	4 7 . 4 . 1	音 楽	
39	小 口 清 一	35	図 工	4 7 . 4 . 1	図 工	
40	川原田 和 子	28	家 庭	4 6 . 4 . 1	家 庭	
41	香 坂 みどり	21	養 護	4 7 . 4 . 1	養 護	
42	橋 田 晟	36	事 務	4 6 . 4 . 1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校における望ましい習慣形成のあり方
昭和41年度	基礎学力の充実 授業研究をととしての教材研究
昭和42年度	徒手体操の系統的指導法の研究
昭和43年度	体育の効果的な指導法 器械運動について
昭和44年度	系統制を重視したボール運動 社会的態度の育成をめざした集団行動
昭和45年度	学校生活における基本的行動様式の実践 学級指導を通して
昭和46年度	学級指導の計画化に基づく指導実践

9. 都教育研究員、研究生の出身歴

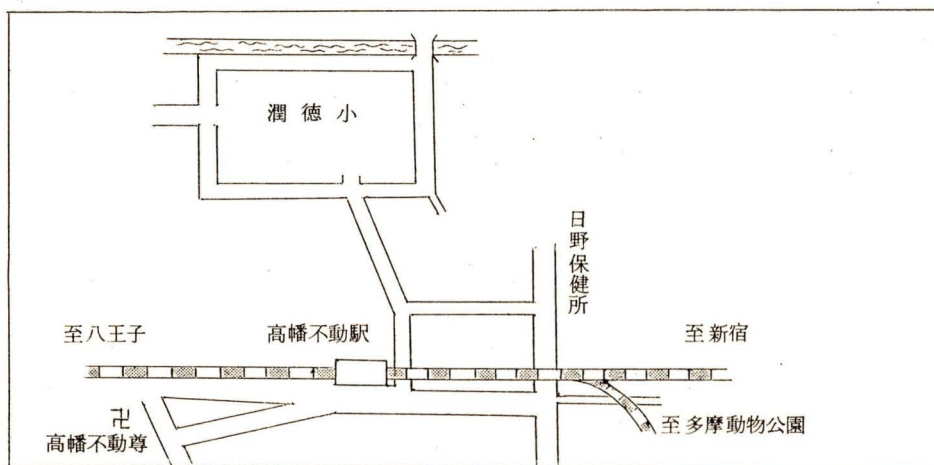
年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和35年度	斉 藤 宏	社 会	研 究 員
昭和38年度	斉 藤 イ ク	学校給食	〃
昭和38年度	天 野 七 郎	〃	〃
昭和42年度	天 野 七 郎	算 数	〃
昭和43年度	坂 井 和 子	教育方法	〃
昭和45年度	村 上 悦 子	音 楽	〃

昭和46年度はなし

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	226	21.9	サービス従事者	49	4.8
管 理 的 職 業	103	10.1	農林、漁業従事者	35	3.4
事 務 的 職 業	240	23.3	そ の 他	52	5.1
自 営 業	83	8.1			
労 務 従 事 者	241	23.3	計	1,029	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立平山小学校
所在地 日野市平山 4-8-6
電話 0425-91-4123・0512
順路 京王線 平山城址公園下車 徒歩8分
〒191

校長氏名 小野 晃

教頭氏名 石井 富蔵

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校
(真心学舎といい修業年限は8
カ年)
- 明 17. 平山 598 番地に新築移転
- 明 20 校名を平山尋常小学校と改める
- 明 35. 5 校名を平山尋常高等学校と改
める。
- 明 41 尋常科を6カ年、高等科を2カ
年とする。
- 昭 16. 4 国民学校令の施行により七生村
立平山国民学校と改める。
- 昭 22. 4 新学校教育制度の実施により七
生村立平山小学校と改める。
- 昭 32. 2 日野町、七生村合併により日野
町立平山小学校と改める。
- 昭 37. 2 東京都給食研究協力校として研
究発表
- 昭 38. 11 市制施行により日野市立平山小
学校と改める。
- 昭 42. 5 鉄筋防音校舎および屋内体育館
の落成により、平山 4-8-6
に移転する。
- 昭 44 日野市研究協力校として「児童
の体力の向上」について研究発
表。
- 昭 45. 3 防音鉄筋校舎 9 教室および機械
室工事完成。
- 昭 46. 3 滝合小の新設に伴う学区変更、
平山小学区は浅川の南側の地区
となる。

2. 歴代校長

氏 名	年 月	年 月
梁 義 伯	明 6. 5	明 12. 1
大 沢 教之助	明 12. 1	明 20. 3
石 井 芳 丸	明 20. 4	明 30. 5
吉 永 信 丸	明 30. 6	明 35. 5
小 宮 彌一郎	明 35. 6	明 45. 3
古 谷 障 司	明 45. 4	大 2. 5
勝 又 房太郎	大 2. 5	大 4. 5
平 杉 蔵	大 4. 6	大 9. 3
上 田 富 彌	大 9. 4	大 15. 3
杉山 喜知太郎	大 15. 4	昭 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4	昭 11. 2
鳥 羽 照 司	昭 11. 2	昭 13. 3
石 谷 倉太郎	昭 13. 4	昭 21. 3
飯 塚 節 三	昭 21. 3	昭 22. 3
田宮五郎右衛門	昭 22. 4	昭 28. 3
森久保 惣 次	昭 28. 4	昭 34. 3
高 橋 本 義	昭 34. 4	昭 37. 3
加々美 良 英	昭 37. 4	昭 40. 3
後 藤 正 太	昭 40. 4	昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4	昭 47. 3
小 野 晃	昭 47. 4	

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子
市に接する平地、田んぼ、畑等の農地も残
っており、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年、鉄道官舎、団地、都営住宅、造
成地住宅等市街化されつつあり、他地域
からの転入者が多く、児童数も急激に増
加しつつある。

4. 教育目標

- | | |
|-------------|------------------------|
| ① 健康安全教育の徹底 | (1) 健康で 明るい子ども |
| ② 学力の充実 | (2) よく考えて さいごまでやりぬく子ども |
| ③ 自主性の育成 | (3) 進んでよいことをする子ども |
| | (4) 力を合わせて働く子ども |

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

- (1) たしかな学習、ゆたかな学習、考える学習を進め、基礎学力の向上をはかる。
- (2) 指導内容を明確にし、量的、質的な精選をはかり創造力を伸ばす。
- (3) 教材教具の充実と活用につとめ、学力の定着をはかる。

イ. 道 徳

望ましい社会構成の一員としての自覚と責任ある行動がとれるよう発達段階と生活問題に即し、道徳的判断力・心情を養うようつとめる。

ウ. 特別活動

児童活動（とくに児童会活動、学級会活動）において、自発的、自治的にきまりを作り実践し、集団行動の過程を通して自主的な態度と協力性を養う。

(2) 生活指導の重点

児童の個性を生かし、ひとりひとりが励みをもって生き生きと自主的に活動する学級づくりをめざす。

6. その他

学校と家庭との連けい、交流をはかり、学校の教育方針を浸透させ、協力して教育効果の向上をはかる。

7. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	3	3	3	3	3	2	17
男	54	66	55	50	43	40	308
女	51	54	36	42	55	30	268
計	105	120	91	92	98	70	576

8. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	小 野 晃	54	校 長	47.4.1	経 営	
2	石 井 富 蔵	56	教 頭	46.4.1	〃	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
3	岩 井 豊 子	52	1 - 1	41.4.1	国 語	
4	会 田 尚 子	35	1 - 2	44.4.1	算 数	
5	雨 宮 政 子	25	1 - 3	45.9.1	国 語	
6	村 松 万佐子	25	2 - 1	45.4.1	音 楽	
7	赤 松 紀 子	31	2 - 2	44.4.1	音 楽	
8	関 恒 夫	44	2 - 3	45.4.1	体 育	
9	溝 江 恵美子	31	3 - 1	39.4.1	算 数	
10	川 上 昇 一	28	3 - 2	45.4.1	道 徳	
11	月 成 カズ子	23	3 - 3	47.4.1	算 数	
12	和 田 文 雄	39	4 - 1	43.4.1	体 育	
13	河 野 珠 恵	25	4 - 2	47.4.1	図 工	
14	柳 英 司	26	4 - 3	47.4.1	理 科	
15	安 達 美 武	27	5 - 1	44.4.1	社 会	
16	吉 川 郁 子	37	5 - 2	44.4.1	理 科	
17	中 村 由久枝	25	5 - 3	44.4.1	図 工	
18	白 川 茂 一	37	6 - 1	44.4.1	社 会	
19	長 尾 節 子	53	6 - 2	45.4.1	家 庭	
20	堀 越 邦 昌	45	理 科	44.4.1	理 科	
21	内 山 美智子	41	音 楽	39.4.1	音 楽	
22	徳 永 照 子	45	図 工	39.4.1	図 工	
23	鈴 木 とよ子	28	養 護	42.4.1	養 護	
24	小 島 義 之	26	事務主事	44.4.1	事 務	

9. 本校研究主題の推移

昭和40年度	理科（すじ道をたてて考える学習）
昭和41年度	全 上
昭和42年度	道徳（道徳指導計画の改訂）
昭和43年度	道徳、体育（道徳、体育を中心に資料の充実と視聴覚教材の活用）
昭和44年度	体育（体育活動を中心に体力の向上をはかる） 市研究協力校
昭和45年度	体育（体力の向上をはかる体育学習）
昭和46年度	生活指導（自主性を育てる）
昭和47年度	全 上

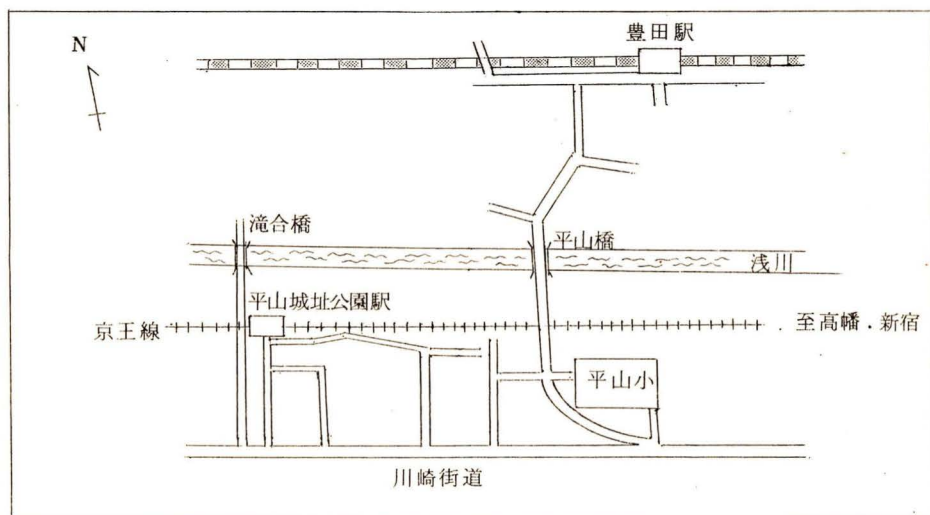
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和40年度	堀 越 邦 昌	学校給食	都研究員
昭和40年度	小 野 晃	道 徳	都研究員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	12	3	労 務 従 事 者	72	18
専 門 ・ 技 術 的 職 業	48	12	サ ー ビ ス 従 事 者	58	15
管 理 的 職 業	20	5	農 林 漁 業	17	4
小 企 業 者	26	7	そ の 他	11	2
事 務 的 職 業	130	33	無 職	5	1

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第八小学校
所在地 日野市三沢200
電 話 0425-91-2411・2412
順 路 京王線高幡不動駅より東へ15分

校長氏名 金子 武 夫

教頭氏名 長 井 新次郎

1. 沿革の概要

昭和44年度

- 44. 1. 2 潤徳小学校の児童激増に伴い第八小学校開設が決定し、工事に着手した。
- 44. 4. 1 第八小学校の開設を9月1日と予定し、潤徳小学校において八小関係の教員並に児童を分離して編成し授業を開始した。
- 44. 8. 1 日野第八小学校が開設され金子武夫初代校長と長井新次郎教頭の二名が着任した。
- 44. 8. 16 教員16名と事務職員1名が八小教諭ならびに事務主事に補せられた。
- 44. 9. 1 日野第八小学校が開校となり、八小関係児童に入学通知が出され、415名の児童が潤徳小より転入した。しかし校舎未完成のため移転できず、そのまま潤徳小で授業を行なう。
- 44. 11. 1 開校式挙行政 11月1日開校記念日と決定。
- 44. 11. 25 第八小学校落成式祝賀式挙行政。
- 45. 1. 15 公募により八小の校章決定
- 45. 3. 25 第一回卒業式挙行政
56名の卒業生を送る。

昭和45年度

- 45. 4. 1 1学級増の14学級となりプレハブ2教室増築。

- 45. 4. 6 第1回入学式を挙行政し、94名の一年生を迎えた。
- 45. 5. 28 PTA奉仕により校庭の植樹作業を行なう。
- 45. 6. 15 今年度の校内研究の重点教科を体育と定め、毎月研究授業並びに研究会を行なった。
- 45. 7. 15 日野第八小学校の校旗ができた。
- 45. 7. 16 25m6コースの新プールが完成し、落成式並びにプール開きを行なう。
- 45. 9. 7 新校歌が完成し秋の大運動会で披露した。なお作詩は米津千之、作曲は渡辺浦人によるものである。
- 45. 12. 20 校地のまわりの柵が完成した。
- 46. 3. 25 第2回卒業式挙行政
67名の卒業生を送る。

昭和46年度

- 46. 4. 6 第2回入学式を挙行政し、109名の一年生が入学した。
学校全体では1学級増の15学級となり、教師は1名増員となった。教室不足のため校舎東側にプレハブの教室を増築した。
- 46. 4. 10 本年度より水、木の2日間を40分授業とし、業間体育並びに集会を行なうことにした。
- 46. 6. 4 町田六小PTAが本校を参観した。本年度中に校舎施設、体育

研究等に関する他県よりの本校参観は7件にのぼった。

- 46. 7.21 市の社会教育のための校庭解放が本年度より実施されることになった。
- 46. 9.15 体育館工事が開始され、47年1月31日に完成した。
- 46. 9.26 秋の運動会を実施したが雨のため第2部を30日に実施した。
- 46.12. 3 日野市教育委員会研究協力校として「授業の効率を高める体育指導」というテーマで、練習カードの活用を中心に体育研究発表会を行なう。市及び市外の参会者約100名で盛会裡に終了した。
- 46. 2.15 体育館落成式並びに祝賀会を挙行了た。
- 46. 3. 6 来年度の学級増に伴うプレハブ2教室が完成した。
- 46. 3.25 第3回卒業式を新体育館において挙行之、五学年以上が参加した。59名の卒業生を送る。

2. 歴代校長

氏 名 年 月 年 月

金子 武 夫 昭和44.8～

3. 地域の環境

- ・本校は京王線の高幡不動駅と百草駅のほぼ中間の北側にある。校舎は田園の真中にあり近くに民家もなく、大自然の中で子どもたちは自由にはばたいている。
通学区の最も遠いところは学校まで40分以上もかかる。
- ・4ヶ所の京王線踏切、年々交通量の増す川崎街道をかかえ、交通禍の危険にさらされているため、特に交通指導に力を入れ、地域でも事故防止に全力をあげている。
- ・父母の70％がサラリーマンで学校に協力的である。
- ・47年3月に西武百草団地が完成し、また宅地造成工事が着々とすすめられて児童数が急速に増加している。

4. 教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、つぎのような子どもを育成する。

1. 健康でたくましい子
2. 美しく、ゆたかな心の子
3. 深く考え、やりぬく子
4. 力を合わせ、はげみあう子

5. 本年度の努力点

- (1) きれいな学校
- (2) 明るくあいさつ
- (3) 正しいことば

6. 本年度指導の重点

- ・学習指導

- (1) 教材教具を効果的に活用し、指導技術の向上をはかる。
- (2) 体育カードの研究を深め、技術の向上をはかり授業の効率を高める。

・生活指導

- (1) 学校生活全体を通じて基本的な生活習慣を身につけさせる。
- (2) 安全な生活態度の育成をはかる。

7. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	3	3	2	2	18
男	82	71	52	61	40	48	354
女	78	66	57	51	39	35	327
計	160	137	109	112	79	83	680

8. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	金 子 武 夫	54	校 長	昭44.8. 1	音 楽	
2	長 井 新次郎	49	教 頭	44.8. 1	視 聴 覚	
3	市 川 恭 子	43	1 - 1	47.4. 1	道 徳	庶務主任
4	奈良岡 由 子	24	1 - 2	47.4. 1	国 語	
5	禰 由 子	40	1 - 3	44.8. 1	音 楽	給食主任
6	中 川 元 美	30	1 - 4	47.4. 1	理 科	
7	平 山 毅	39	2 - 1	45.4. 1	道 徳	道徳主任
8	堀 越 明 美	24	2 - 2	47.4. 1	算 数	
9	荒 尾 浩 子	26	2 - 3	44.8.16	算 数	特活主任
10	土 井 桂 子	25	2 - 4	47.4.16	算 数	
11	飯 田 幸 次	50	3 - 1	44.8.16	算 数	教務主任
12	秋 山 照 子	30	3 - 2	46.4. 1	理 科	
13	安 室 清 治	24	3 - 3	46.4. 1	図 工	
14	近 藤 正 晴	43	4 - 1	44.8. 1	国 語	保健主事
15	長 浜 和 子	30	4 - 2	44.8.16	家 庭	教育相談員
16	橋 本 允 子	31	4 - 3	45.4. 1	体 育	図書主任
17	佐 藤 章 吾	47	5 - 1	44.8.16	社 会	生活指導主任
18	円 谷 雅之助	27	5 - 2	44.8.16	体 育	安全主任
19	柳 沼 敏 男	46	6 - 1	44.8.16	理 科	研究主任

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
20	内 藤 康	38	6 - 2	44.8.16	体 育	体育主任
21	森 川 琉 子	34	音 楽	44.8.16	音 楽	音楽主任
22	小 島 シ ズ	59	図 工	44.8.16	図 工	図工主任
23	長 田 裕 子	36	家 庭	44.8.16	視 聴 覚	家庭科主任
24	伊 佐 弘 江	37	養 護	44.8.16	養 護	
25	郷 原 敦	28	事 務	44.8.18	事 務	事務主事

9. 本校研究主題の推移

昭和44年度	体育科の効果的指導法の研究
昭和45年度	授業の効率を高める体育指導
昭和46年度	日野市研究協力校をうけ、45年度の研究のまとめを行う。 研究テ-マ 「授業の効率を高める体育指導」 “器械運動を中心にカードの作成と活用”
昭和47年度	○教材教具の効果的な活用 ○授業の効率を高める体育指導 練習カードの作成と活用

10. 本教育研究員

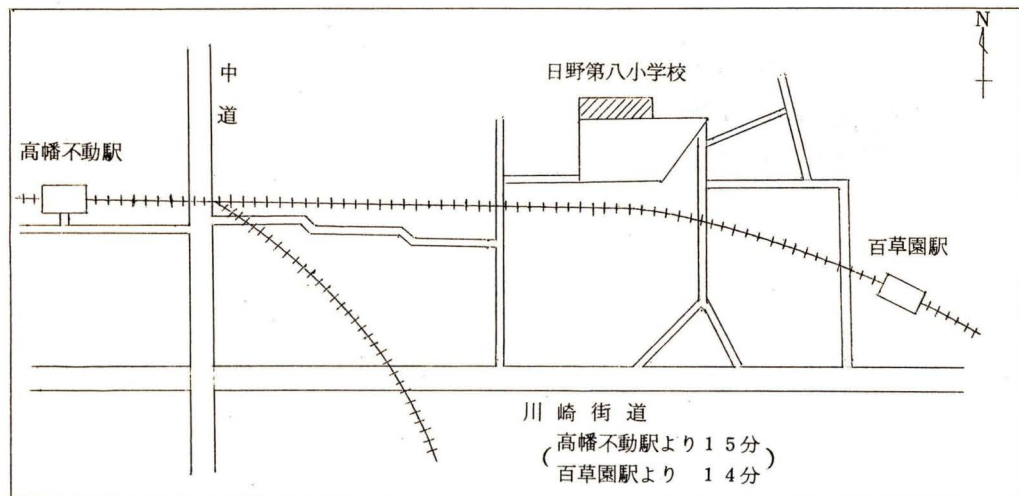
45年度 内 藤 康 「授業の効率をたかめる体育指導」

47年度 近 藤 正 晴 「 」

11. 保護者の職業一覧

職 業 分 類	家庭実数	%	職 業 分 類	家庭実数	%
専 門 的 技 術 者	24	5	商 工 業 従 事 者	32	6
経 営 管 理 者	22	4	農 林 漁 業 従 事 者	21	4
一 般 事 務 従 事 者	221	42	サ - ビ ス 業	9	2
公 務 員	51	10	そ の 他	8	2
保 安 サ - ビ ス 業	7	2	無 職	4	1
運 輸 業	31	6			
技 術 従 事 者	84	16	計	514	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立百草台小学校
所在地 日野市百草999
電 話 0425-91-0998
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
にて5分 百草センター下車

校長氏名 岡 本 省 吾

教頭氏名 寺 崎 秋 光

1. 沿革の概要

- 44. 8. 校舎新築起工
- 44. 12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小校内で授業開始。
- 45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する。学級数 8. 児童数 118. 教職員 16. 市職員 3.
- 45. 6. 1 開校式挙行、6月1日を開校記念日とする。
- 45. 9. 1 高幡台団地の入居により児童数増加 296 名となり、学級数 11. 教職員 17 となる。
- 46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き 3月8日を制定記念日とする。
- 46. 3. 25 第一回卒業式挙行 卒業生 34 名
- 46. 4. 1 社会増による教室不足のためプレハブ 6 教室増設
- 46. 4. 6 児童数 604. 学級数 16. 教職員 23. 市職員 3 となる。
- 46. 4. 30 校地北側の埋立工事完了
- 46. 7. 31 プール工事完了、大プール、小プール、シャワー、更衣室、機械室等竣工
- 46. 12. 15 体育館新築工事着工
- 47. 1. 31 給食調理室および周辺の舗装工事竣工
- 47. 2. 12 調理室火入れ式挙行、調理開始
- 47. 3. 25 第二回卒業式挙行、卒業生 44 名、
- 47. 3. 31 高幡台小学校の新設にともなう学区変更により高幡台団地およ

び周辺の児童は高幡台小学校へ転校。

- 47. 4. 1 高幡台小学校の新設により児童数 416. 学級数 12. 教職員 18 となる。

2. 歴代校長

氏 名 年月～年月

初代 岡 本 省 吾 45年4月～

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって多摩丘陵に造成された百草団地と高幡台団地がおもな学区である。団地の内外とも起伏が多く、まわりはまだ緑が多く、静かで変化に富んだ高台である。眼下には浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野の市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日などは都塵をさけたリクレーシヨンの人々にぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

心身ともに健康で豊かな情操の持ちぬしを次の四点をとおして育成する。

- ・みんなで助け合っていけることも
- ・働くことのすばらしさを身につけたことも
- ・自分から進んで正しいことをやりぬくことも
- ・人間らしいあたたかい心をもったことも。

5. 指導の重点

教 科

- ・国語の指導、特に作文指導に重点をおく。

生活指導

- ・集団生活のエチケットをきびしく教え、社会生活の秩序と協力の精神を養う。
- ・学校美化、清掃をととして公共物愛護と勤労の精神を養う。

道徳・特活(略)

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	3	3	2	2	1	1	12
男	70	44	40	27	20	25	226
女	46	50	26	25	20	19	186
計	116	94	66	52	40	44	412

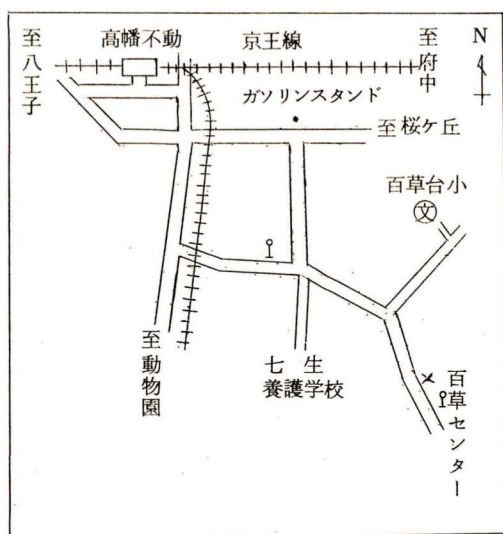
7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	岡 本 省 吾	52	校 長	45.4.1		
2	寺 崎 秋 光	48	教 頭	45.4.1		
3	菊 池 悦 子	31	1 - 1	45.9.1	国・理	
4	萩 沢 モト子	45	1 - 2	45.4.1	社・算	
5	幸 野 嘉 子	46	1 - 3	46.4.1	算・図	
6	信 夫 頼 子	27	2 - 1	46.4.1	算・図	
7	肥 高 重 男	45	2 - 2	45.4.1	社・体	
8	志 村 二三子	24	2 - 3	46.4.1	国・社	
9	石 川 耀 子	39	3 - 1	46.4.1	理・体	
10	斉 藤 茂	41	3 - 2	45.4.1	算・理	
11	安 田 春 信	28	4 - 1	46.4.1	体・図	
12	根 上 節 子	25	4 - 2	45.4.1	国・音	
13	佐久間 久美子	41	5 - 1	45.4.1	理・家	
14	村 松 徹 二	45	6 - 1	46.4.1	理・体	
15	稲 垣 昌 子	30	音 楽	45.4.1	音・国	
16	佐 藤 カズ子	26	図 工	45.4.1	図・家	
17	佐々木 加津子	40	養 護	45.4.1	保・体	
18	川 北 喜美雄	26	事 務	45.4.1		

10. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員			医 師		
公 務 員			商 店 員		
教 員			自 宅 商		
運 輸			建 築		
工 員			そ の 他		

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立滝合小学校
所在地 日野市西平山2の3の1
電話 0425-83-5172・5173
順路 京王線 平山城址公園駅下車徒歩10分

校長氏名 峰 岸 敬次郎

教頭氏名 礒 川 豊 一

1. 沿革の概要

昭46.4.1 平山2720番地に開校
(学校長 峰岸敬次郎
児童728人 20学級)

46.6.1 開校記念日

46.12.1 校章、校歌制定

47.2.25 落成式挙行

2. 歴代校長

峰 岸 敬次郎 昭46.4～

3. 地域の環境

(1) 浅川の北側に点在する静かな農家をはさんで浅川より平山団地、中央線沿いに鉄道官舎がならび、新旧入りみだれた景観をもっているのが本校の学区である。

(2) 中央線北側の住宅地域も1部分学区に加わり、田んぼに囲まれた学校付近とは相対した様相をなしている。しかし、学校西側には宅地造成も始まり、やがて住宅に囲まれた学校に生まれ変わるであろう。

4. 教育目標

- (1) 健康でたくましい子ども
- (2) 勉強に努力する子ども
- (3) 進んで協力し実行する子ども
- (4) 生きものをたいせつにする子ども

5. 指導の重点

(1) 各教科

ア、発問発表のしかたを中心に聞く態度と、思考過程を重視し、自主的な学習

態度を養う。

イ、特別教室、資料室等の利用を有効に教材教具を効果的に使用するよう指導法の研究をする。

(2) 道徳

ア、生命をたいせつにし、健康の増進、安全の保持に努める。

イ、常に希望を持ち、よりよい目標を立ててその実現に努力する。

ウ、互いに信頼し合い仲よく助け合う。

エ、やさしい心をもって動物や植物を愛護する。

(3) 特別活動

ア、生活指導、保健指導等と有機的に関連しつつ本活動を進める。

イ、「生きものをたいせつにする子ども」「健康でたくましい子ども」の教育目標を本活動において特に重視して指導する。

(4) 生活指導の重点

ア、時間を守り、時間をたいせつにする習慣を身につけさせる。

イ、ものの価値を理解し、所有者に關係なくものをたいせつにする習慣を形成する。

ウ、子どもの登下校の指導には常に留意

し、学校と家庭の連絡を密にして安全対策、生活指導を進める。

エ、指導目標を月別、学年指導に分けて具体化し、指導の徹底を期す。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	5	4	3	3	2	22
男	99	99	86	60	48	40	432
女	99	87	65	61	53	36	401
計	198	186	151	121	101	76	833

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	峰 岸 敬次郎	58	校 長	4 6 . 4 . 1	経 営	
2	磯 川 豊 一	58	教 頭	4 6 . 4 . 1	経 営	
3	伊 礼 道 子	31	1 - 1	4 6 . 4 . 1	算 数	
4	馬 場 昌 子	53	1 - 2	4 6 . 4 . 1	社 会	
5	小笠原 本 江	31	1 - 3	4 6 . 4 . 1	理 科	
6	成 井 朝 雄	44	1 - 4	4 6 . 4 . 1	体 育	
7	塚 本 純 子	28	1 - 5	4 6 . 4 . 1	図 工	
8	橋 本 清	47	2 - 1	4 6 . 4 . 1	体 育	
9	赤 松 昭 子	29	2 - 2	4 6 . 4 . 1	理 科	
10	渡 辺 か ほ	37	2 - 3	4 6 . 4 . 1	国 語	
11	柿 沢 鎮 子	43	2 - 4	4 6 . 4 . 1	道 徳	
12	大 谷 真知子	24	2 - 5	4 7 . 4 . 1		非常勤講師
13	清 水 輝 夫	56	3 - 1	4 6 . 4 . 1	道 徳	
14	小 原 都	24	3 - 2	4 6 . 4 . 1	社 会	
15	秋 野 美津子	26	3 - 3	4 6 . 4 . 1	音 楽	
16	西 田 敦 子	34	3 - 4	4 6 . 4 . 1	国 語	
17	熊 谷 三 起	49	4 - 1	4 6 . 4 . 1	図 工	
18	溝 口 達 男	25	4 - 2	4 6 . 4 . 1	算 数	
19	川 井 龍 介	29	4 - 3	4 6 . 4 . 1	体 育	
20	伊 藤 恵 造	47	5 - 1	4 6 . 4 . 1	社 会	
21	愛 甲 秀 人	25	5 - 2	4 7 . 4 . 1	理 科	
22	川 上 美穂子	36	5 - 3	4 6 . 4 . 1	国 語	
23	村 越 正	37	6 - 1	4 6 . 4 . 1	理 科	
24	鈴 木 ナヲ	52	6 - 2	4 7 . 4 . 1	家 庭	
25	鳥 飼 政 喜	49	図 工	4 6 . 4 . 1	図 工	
26	岡 田 あつ子	23	音 楽	4 7 . 4 . 1	音 楽	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
27	河 村 順 子	23	家 庭	4 6 . 4 . 1	家 庭	
28	田 島 佳 子	31	養 護	4 6 . 4 . 1	保 健	
29	斉 藤 悦 子	25	事 務	4 7 . 4 . 1	事 務	
30	山 口 武 彦	41		4 6 . 4 . 1	社 会	都研究生

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度

教材教具を授業にもっとも有効適切に生かすには、その整備及び活用をどうしたらよいか。

昭和47年度

特別教室、資料室等の利用を有効に、教材教具を効果的に使用するよう指導法の研究をする。

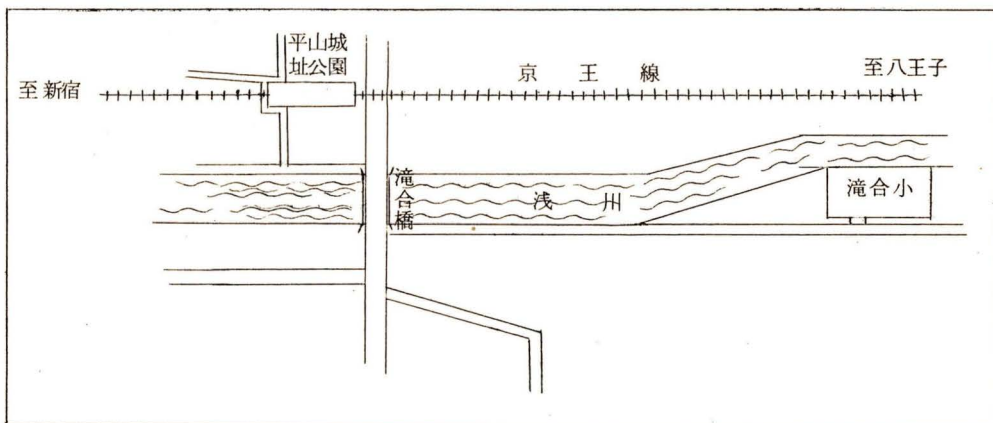
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和46年度	山 口 武 彦	社 会	都研究員
昭和47年度	山 口 武 彦	社 会	都研究生

10. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
農 業	4	0.5	会 社 員	401	59
工 業	23	3	医 師	3	0.5
商 業	25	4	公 社 職 員	73	11
運 輸 交 通 業	47	7	そ の 他	18	2.5
国 家 公 務 員	14	2	無 職	4	0.5
地 方 公 務 員	70	10	計	682	100

11. 学校に至るまでの地図



学校名	日野市立高幡台小学校
所在地	日野市程久保 550
電 話	0425-91-7011
順 路	京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて 5 分 高幡台団地下車

校長氏名 平 松 健太郎

教頭氏名 渋谷 義 一

1. 沿革の概要

昭 46.8. 7 校舎新築工事起工
 47.3.10 校舎完成
 47.4. 1 日野市立高幡台小学校として開校。
 鉄筋三階建校舎 普通教室 12.
 特別教室 4 特別室 9
 学級数 12 児童数 402 名
 教職 18 名 市職員 2 名

2. 歴代校長

氏 名

平 松 健太郎 昭 47.4.1～

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区である。高幡台団地は 5 階～ 11 階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校および団地から眺められる景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。住宅街の近くには田畑も残っていて、農耕にいそ

しむ農家の人々もあり、静かなよい環境といえる。

4. 教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- ・よく考え、自分からやりぬくことも
- ・あたたかい心で助け合うことも
- ・働くことのすばらしさを身につけたことも
- ・健康で明るいことも

5. 指導の重点

教 科

- ・授業研究を通して資料の整備、活用をはかり、学習の効果を高める。

道 徳

- ・資料の整備、活用をはかり、学習の効果を高める。

特別活動

- ・学級指導の内容と時間配当をくふうする。

生活指導

- ・規律を守る習慣をつける。
- ・協力する態度を養う。
- ・安全指導の徹底をはかる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
学級数	3	3	2	2	1	1	12
男	52	55	32	29	18	18	204
女	48	52	32	29	23	16	198
計	100	107	64	56	41	34	402

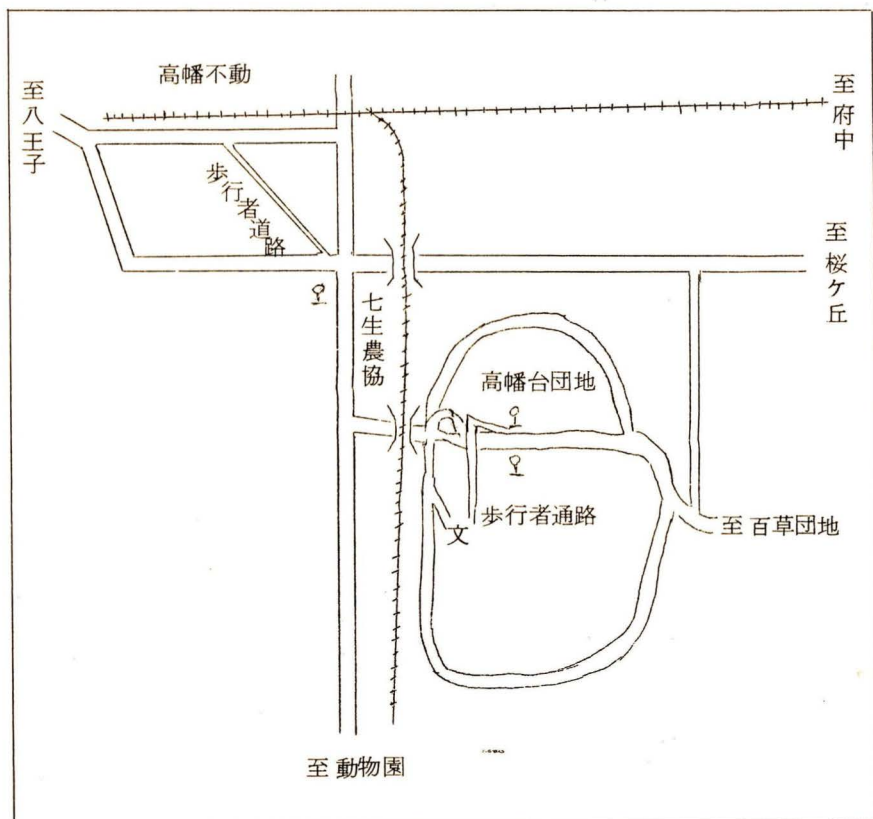
7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	平 松 健太郎	48	校 長	47.4.1		
2	渋谷 義一	45	教 頭	47.4.1		
3	中 村 笙 子	30	1 - 1	47.4.1	図 工	
4	早 福 愛 子	24	1 - 2	47.4.1	音 楽	
5	渋谷 範 子	25	1 - 3	47.4.1	理 科	
6	村 越 裕 子	36	2 - 1	47.4.1	国 語	
7	増 田 静 香	23	2 - 2	47.4.1	国 語	
8	安 西 利 江	29	2 - 3	47.4.1	算 数	
9	末 継 逸 夫	47	3 - 1	47.4.1	体 育	
10	平 川 園 子	23	3 - 2	47.4.1	家 庭	
11	赤 井 光 子	26	4 - 1	47.4.1	理 科	
12	岡 江 フミ子	23	4 - 2	47.4.1	社 会	
13	青 柳 佳 子	27	5 - 1	47.4.1	社 会	
14	土 方 邦 男	27	6 - 1	47.4.1	体 育	
15	辻 田 六 郎	58	図 工	47.4.1	図 工	
16	河原田 桂 子	40	音 楽	47.4.1	音 楽	
17	細 井 聖 子	47	保 健	47.4.1		
18	石 田 義 一	38	事 務	47.4.1		

10. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	219	67	自 宅 商	5	2
公 務 員	37	11	自 宅 工	5	2
教 員	11	3	報 道 関 係	8	3
運 輸	15	4	各 種 技 師	8	3
工 員	2	1	会 社 役 員	6	2
商 店 員	3	1	そ の 他	6	2

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第一中学校
所在地 日野市日野 2614
電 話 0425-81-0009
順 路 国電日野駅下車 徒歩10分

校長氏名 安 部 達 郎

教頭氏名 高 橋 太 一

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 30 公立中学校として設置認可、
日野中学校と称する。
23. 3. 24 第一回卒業式挙行（卒業生
43名）
24. 4. 1 校歌制定
29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
30. 9. 1 校舎裏田園4,000坪買収、運
動場拡張
32. 3. 22 校旗制定
37. 1. 17 標準服実施の決定、37年度
より実施
37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
38. 9. 9 プール落成
38. 11. 3 日野市制施行、市立日野第一
中学校となる。
39. 5. 1 特別教室完成
41. 7. 1 体育館落成
42. 11. 4 二十周年記念式典挙行
44. 10. 19 救助袋5個取付け
44. 10. 23 プレハブ校舎完成
46. 6. 30 校庭夜間照明灯設置
（社会教育）
47. 2. 4 井戸水を市水道に切替え
47. 2. 29 体育館への渡り廊下建設
47. 3. 17 第25回卒業式挙行
（卒業生269名
通算6,564名）

2. 歴代校長

氏 名

- 初代 町田勘之助 昭 22. 4～昭 25. 9（死去）
- 2代 飯塚 節三 25. 10～ 37. 3
- 3代 大沢 彰 37. 4～ 40. 3
- 4代 大沢 量作 40. 4～ 45. 3
- 5代 安部 達郎 45. 4～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する
第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水
田が発達し甲州街道ぞいの宿場町として栄
えて来た。近年郊外の住宅、工場（羽田ヒ
ューム管、雪印乳業、オリエント時計）、
特に中小企業、家内工業、商業が多く、近
郊農業も見られる。

なお、日野市の中心地区として、市役所
警察署、郵便局、消防署等が置かれ、他に
農林省、水産（淡水）研究所、蚕業研究所
がある。

4. 教育目標

わたしたちは、ひとりひとりを尊重し、真
理と平和を求める人間となるために学び、
希望に満ちた社会をめざしてつぎの目標を
定めます。

1. よく考え、やりぬく人（主体性）
2. 協力し、全体につくす人（連帯性）
3. 心豊かで、思いやりのある人（人間性）
4. 進んで、心身をきたえる人（健康）

5. 教育目標達成のための基本方針と指導の重点

(1) 基本方針

教育内容の組織 思考力や創造力の育成をめざし、基本事項の精選、集約化をはかる。

授業時数の配当 自主的な態度と社会連帯の精神、豊かな情操、積極的な体力の育成をめざし、特別活動、音楽、美術、体育の各分野を重視する。

指導方法 自発的、自律的態度を助長し、思考力、創造力を育成するため、表現や発表の機会を常にとり入れる。

(2) 指導の重点

① 各教科

積極的に学習する姿勢を育てる。

発表の場や表現の機会を多くし、意欲を高める。

学習の計画を立てさせ、復習、予習の習慣をつける。

指導内容の精選、指導法の改善に努め、よく考える態度を養う。

② 道徳

ひとりひとりを尊重する態度を養う。

きまりを守り行動する態度を伸ばす。

感謝する気持を育てる。

③ 特別活動

生徒活動 ○クラブ活動に参加し、自主的な活動を伸長する。

○学級の基盤に立った生徒会活動、委員会活動を重視し、自主的な活動を伸長する。

学級活動 ○個人や集団を真に向上発展させるにはどうあるべきかを考えさせる。

○生活環境に自ら積極的に働きかけ、改善していく態度を育てる。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	しあわせ学級			計
				1 年	2 年	3 年	
学級数	7	7	6				22
男	156	149	140	6	5	4	460
女	115	127	128	0	5	1	376
計	271	276	268	6	10	5	836

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校 就任年月日	担任教科	分掌、その他
1	安 部 達 郎	52	学 校 長	45. 4. 1		
2	佐 野 和 夫	45	教 頭	47. 4. 1	技 術	
3	阿 藤 貞 夫	36	1 A	44. 4. 1	保健体育	保健主事 保健部長
4	渡 辺 礼 子	37	1 B	41.10. 1	英 語	研究部 学活係
5	市 塚 正 史	41	1 C	42. 4. 1	数 学	1年学年主任 教務庶務係
6	天 野 義 雄	40	1 D	47. 4. 1	社 会	指導部安全係
7	山 賀 典 雄	44	1 E	46. 4. 1	技 術	事務部営繕係
8	福 島 良 樹	25	1 F	47. 4. 1	理 科	視聴覚係
9	宇津木 十四男	47	1 G	46. 4. 1	国 語	図書係
10	阿 部 敬	45	1年所属	43. 4. 1	音 楽	指導部安全係
11	大 貫 米 子	41	〃	44. 4. 1	国 語	教務企画
12	簡 井 ハ ル	52	〃	45. 4. 1	家 庭	教務時間割
13	黒 木 利 武	46	〃	45. 4. 1	英 語	事務部営繕係
14	笠 井 素 子	37	1年しあわせ学級	47. 4. 1	特殊教育	給食係
15	大 山 正 昭	43	2 A	43. 4. 1	英 語	図書視聴覚部長
16	土 屋 智恵子	25	2 B	47. 4. 1	美 術	学籍記録
17	岡 田 文 彦	33	2 C	44. 4. 1	数 学	指導部クラブ係
18	福 井 温 子	46	2 D	42. 4. 1	国 語	教務企画、時間割
19	宮 田 隆	24	2 E	47. 4. 1	保健体育	教務時間割係
20	大 山 裕 子	26	2 F	46. 4. 1	社 会	研究部学活係
21	山 浦 宏	48	2 G	45. 4. 1	社 会	2年学年主任、研究部長
22	河 野 寿 忠	41	2年所属	40. 4. 1	理 科	教務主任
23	真 船 治 美	38	〃	45. 4. 1	保健体育	指導部美化係
24	釣 澄 江	24	〃	45. 4. 1		養護担当教諭
25	星 勝	35	〃	46. 4. 1	音 楽	指導部生徒会係
26	亀 山 利 子	34	2年しあわせ学級	47. 4. 1	特殊教育	研究部指導係
27	羽 生 幸 一	40	3 A	45. 4. 1	国 語	教務庶務、時間割係
28	五十嵐 公 恵	41	3 B	38. 4. 1	国 語	図書係
29	山 本 節 子	33	3 C	41. 4. 1	数 学	学籍記録係
30	逸 見 敏	36	3 D	46. 4. 1	美 術	指導部生徒会係
31	立 川 泰 司	45	3 E	47. 4. 1	理 科	指導部生活係
32	山 川 昭 子	40	3 F	39. 4. 1	数 学	給食係

番号	氏 名	年令	担 任	本校 就任年月日	担任教科	分掌，その他
33	望 月 慎 吾	42	3 年 所 属	42. 4. 1	社 会	3 年学年主任 給食係
34	飯 島 利 三	33	〃	38. 4. 1	技 術	生活指導主任
35	八 木 利 子	28	〃	46. 4. 1	保健体育	指導部生徒会係
36	内 堀 範 子	27	〃	47. 4. 1	英 語	事務部営繕係
37	森 田 寿 子	53	3年しあわせ学級	43. 4. 1	特殊教育	給食主任
38	武 藤 保	57		45. 4. 1		事務主査
39	長 沢 三 郎	47		27. 4. 16		都教組専従
40	五十嵐 邦 享	41		46. 4. 1		市充当指導主事
41	中 野 草三郎	43		46. 4. 1	理 科	非常勤講師
42	畑 中 純	28		47. 4. 1	理 科	〃
43	村 松 輝 明	25		47. 4. 1	保健体育	〃
44	倉 本 ト ヨ	51		44. 4. 1	家 庭	〃
45	矢ヶ崎 和 子	40		45. 6. 1	英 語	特殊学級講師
46	田 本 徹	35		46. 5. 1	音 楽	〃

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	本校生徒の学力と学習適応性
昭和42年度	基礎学力の充実とその効果的指導法
昭和43年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和44年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和45年度	新指導要領はどのように変わるか(教科について)
昭和46年度	新指導要領はどのように変わるか(教科以外について)
昭和47年度	特別教育活動の指導のありかた

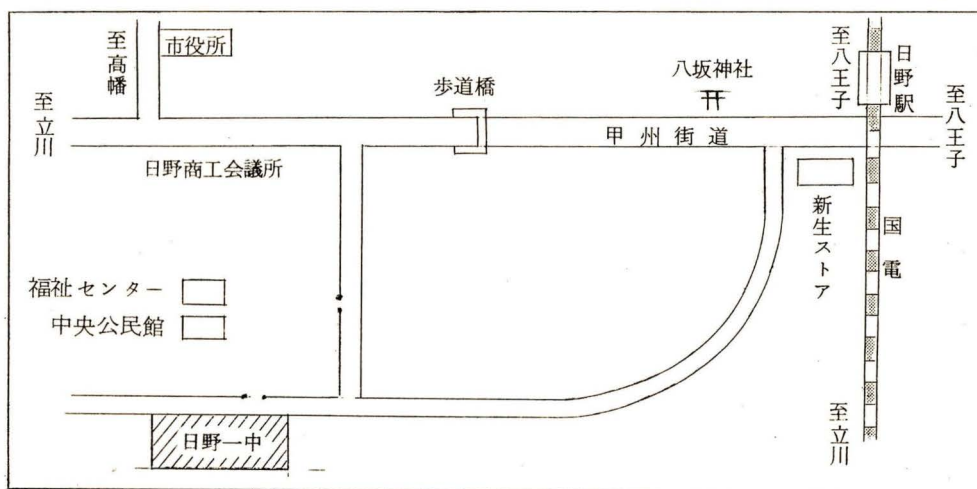
9. 都教育研究員・研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和32年度	御子柴 昭 治	社 会	研究員
昭和42年度	河 野 寿 忠	理 科	〃
昭和42年度	富 士 堯	特 活	〃
昭和44年度	市 塚 正 史	数 学	〃
昭和46年度	飯 島 利 三	技 術	〃
昭和46年度	岡 田 文 彦	進路指導	〃
昭和46年度	富 士 堯	理 科	研究生(都研)
昭和47年度	市 塚 正 史	教育方法	研究員

10. 保護者の職業一覧

職 種	人 数	%	職 種	人 数	%
専門的、技術的職業	51	6	技能 的 職業	183	22
管 理 的 職業	58	7	運輸・通信の職業	48	6
事 務 的 職業	279	33	サービ 的 職業	31	4
販 売 的 職業	24	3	無 職 そ の 他	96	11
農 業 ・ 漁 業	66	8	計	836	100%

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第二中学校
所在地 日野市多摩平4丁目5の2
電 話 0425-81-0056
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 河 村 俊一郎

教頭氏名 平 美 治

1. 沿革の概要

- 昭29年 設立認可、開校式、入学式
(生徒202名)
第二期工事八教室増築落成
- 昭31年 第三期工事竣工落成
- 昭32年 第一回卒業式(卒業生204名)
- 昭33年 校旗、校歌制定
- 昭34年 産業教育研究校に指定される。
- 昭35年 特別教室(工作、調理、理科)
竣工落成
- 昭36年 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行
研究発表会
- 昭37年 プール竣工落成
- 昭38年 保健体育研究発表会
- 昭39年 普通教室3教室竣工、創立10
周年記念式典挙行
- 昭40年 体育館竣工
- 昭41年 防音校舎第一期工事完成(6教
室)
- 昭42年 防音校舎第二期工事完成(18
教室)
プール用更衣室工事完成
- 昭43年 南校舎前、境花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
- 昭44年 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟(2室)増設
- 昭45年 プレハブ一棟(2室)増設
- 昭46年 プレハブ一棟(2室)増設
- 昭47年 プレハブ二棟(10室)増設

2. 歴代校長

年 月 ～ 年 月

初代 橋本 貴一 昭29. 3.31～30. 9.30

二代 増山 恒 昭30.10. 1～41. 3. 1

三代 飯田 栄一 昭41. 4. 1～46. 3.31

四代 河村俊一郎 昭46. 4. 1～ 現 在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき、東南部になお農業地域を残し、本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

4. 教育目標

教育基本法第一条の精神にのっとり

- (1) 自ら進んで計画し、実践する自主自立の人間を育成する。
- (2) 自分自身を尊ぶと共に、他人を尊重する敬愛の精神を養う。
- (3) 仕事を愛する健康で勤勉な社会人をつくる。

5. 本年度指導の重点

・学習指導

自ら学びとる学習の姿勢を育成し、基礎学力の充実をはかる。

○指導法の研究

○教材の精選

・生活指導

組織、集団を通して自主的に判断し、行動する生活態度を養う。

○生徒会活動の推進 ○学級活動の充実

・進路指導

系統的指導計画の実践を通して、自らを充分に理解し将来の進路を選択する能力を育成する。

○教育相談の推進

○諸検査、諸調査の活用

・その他

以上の目標を達成するため

- (1) 家庭との連絡を密にする。
- (2) 生徒の実態を充分に把握する。
- (3) 健康安全の保持について充分な配慮をする。
- (4) 環境整備と美化に積極的に取り組む。
- (5) 教師相互の共通理解と統一した指導態勢をつくる。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	1 3	1 1	1 0	3 4
男	2 8 1	2 2 0	1 8 5	6 8 6
女	2 6 4	2 3 8	2 2 4	7 2 6
計	5 4 5	4 5 8	4 0 9	1,4 1 2

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	河 村 俊一郎	52		46. 4. 1		
2	平 美 治	56		42. 4. 16	技 術	
3	秦 好 一	47	1年主任	42. 4. 1	社 会	学習指導部長
4	稲 川 正 義	44	1 - 1	44. 4. 1	理 科	
5	海江田 松 子	45	1 - 2	40. 4. 1	数 学	
6	西 村 美紗子	36	1 - 3	37. 4. 1	音 楽	
7	田 中 栄 一	45	1 - 4	36. 4. 1	国 語	1年副主任
8	石 垣 豊 子	30	1 - 5	47. 4. 1	国 語	
9	福 地 和 子	33	1 - 6	47. 4. 1	理 科	
10	原 島 弘	40	1 - 7	46. 4. 1	保 体	
11	梅 林 美枝子	29	1 - 8	43. 4. 1	英 語	
12	佐 藤 イ サ	41	1 - 9	40. 9. 1	国 語	
13	富 士 堯	39	1 - 10	47. 4. 1	理 科	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
14	和 田 啄 子	35	1－1 1	47. 4. 1	保 体	
15	森 紀 子	31	1－1 2	45. 4. 1	社 会	
16	高 木 宏 文	39	1－1 3	41. 4. 16	数 学	
17	山 村 泉 二	45	1 年 付	44. 4. 1	社 会	
18	西 村 敦 子	33	〃	47. 4. 1	家 庭	
19	井 村 初 子	35	〃	46. 4. 1	美 術	
20	石 田 洋 子	26	〃	46. 4. 1	英 語	
21	渡 辺 勉	46	2－1	44. 4. 1	数 学	
22	市 川 史 子	24	2－2	46. 4. 1	英 語	
23	北 田 昇 司	24	2－3	47. 4. 1	理 科	
24	高 崎 雅 子	37	2－4	46. 4. 1	国 語	
25	小 林 節 夫	43	2－5	46. 4. 1	美 術	2 年副主任
26	石 渡 和 子	45	2－6	47. 4. 1	国 語	
27	橋 本 紘 一	31	2－7	43. 4. 1	英 語	
28	辻 和 代	26	2－8	47. 4. 1	保 体	
29	大 石 幸 雄	33	2－9	46. 4. 1	保 体	
30	熊 本 まゆみ	24	2－10	44. 4. 1	家 庭	
31	鈴 木 良 身	41	2 年主任 2－1 1	43. 4. 1	技 術	
32	井 田 武	43	2 年 付	41. 4. 1	国 語	教務主任
33	黒 沢 谷五郎	47	〃	36. 4. 1	社 会	
34	荒 井 式 子	41	〃	45. 4. 1	社 会	
35	設 楽 悦 代	36	〃	36. 4. 1	理 科	
36	大 須 寿美子	34	〃	37. 4. 1	数 学	
37	上 田 嘉 令	27	〃	47. 4. 1	音 楽	
38	小 畑 亮	50	3 年主任	42. 4. 1	美 術	
39	萩 原 典 子	44	3－1	45. 4. 1	家 庭	
40	六 本 木 茂	44	3－2	37. 4. 1	社 会	
41	渡 辺 恵 敏	37	3－3	46. 4. 1	理 科	
42	柳 井 佐和子	32	3－4	42. 4. 1	保 体	保健主事
43	永 谷 豊	39	3－5	47. 4. 1	技 術	
44	千 田 正 之	34	3－6	43. 4. 1	保 体	体育主任
45	柳 沢 美 澄	36	3－7	45. 4. 1	英 語	
46	村 上 敏 雄	37	3－8	47. 4. 1	音 楽	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
47	我 妻 要	48	3 - 9	42. 4. 1	国 語	
48	丸 山 尙 夫	40	3 - 10	46. 4. 1	数 学	
49	北 条 義 道	61	3 年 付	39. 4. 1	国 語	庶務主任
50	西 川 利 行	47	3 年 付 副 主 任	45. 4. 1	英 語	生活指導主任
51	武 藤 光 哉	45	3 年 付	47. 4. 1	社 会	
52	成 瀬 二 郎	46	"	44. 4. 1	理 科	進路指導主任
53	古 莊 斗 糸子	33	"	45. 4. 1	数 学	
54	勝 部 節 子	25	"	45. 4. 1	保 健	養護教諭
55	後 藤 春 樹	65	非 常 勤 師 講	47. 4. 1	技 術	
56	成 田 八重子	46	"	46. 4. 1	数 学	
57	山 岸 香	23	"	47. 4. 1	音 楽	
58	深 田 浩一郎	37	"	47. 4. 1	技 術	
59	中 野 節 子	32	"	47. 4. 1	英 語	
60	貫 井 タ リ	36	"	47. 4. 1	英 語	
61	須 藤 芳 正	24	"	47. 4. 1	保 体	
62	駒 形 恵美子	25	"	47. 4. 1	美 術	
63	中 根 健 五	31	事 務	40. 7. 1	事 務	事務主査
64	本 間 慶 子	35	"	36. 10. 1	"	
65	衣 袋 節 子	24	"	40. 2. 1	"	
66	山 崎 作 治	60	用 務 員	29. 4. 1	用 務 員	
67	水 越 保	43	"	41. 9. 1	"	
68	岩 崎 松 雄	72	警 備 員	42. 5. 1	警 備 員	
69	小 林 政 枝	48	P.T.A 事 務	42. 9. 25	P.T.A 事 務	
70	小 貫 隼 男	48		43. 4. 1		充当指導主事

8. 本校研究主題の推移

昭和 40 年度	教科の経営について	昭和 44 年度	環境美化について（継続）
昭和 41 年度	目標と評価（初年度）	昭和 45 年度	基本的生活習慣の具体的指導について
昭和 42 年度	目標と評価（継続）		
昭和 43 年度	環境整備について ㊦美術教育研究協力校	昭和 46 年度	性教育について

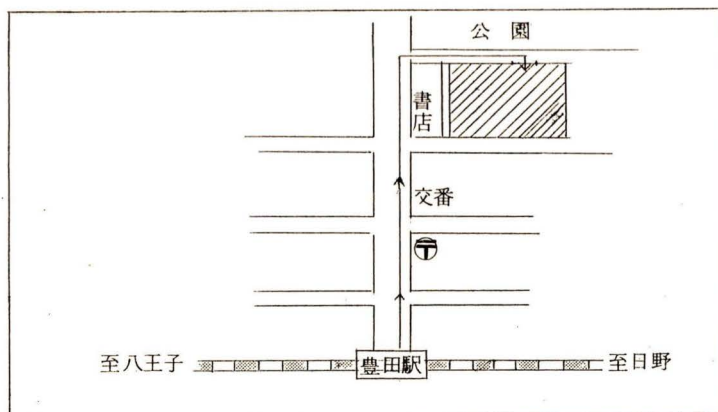
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教 科 領 域	研究員、研究生別
昭和36年度	松 本 利 雄	社 会	研 究 員
昭和36年度	中 村 忠 男	数 学	〃
昭和37年度	照 山 宗一郎	技術・家庭	〃
昭和37年度	榎 本 健 三	学校行事	〃
昭和38年度	本 間 ト ヨ	保健体育	〃
昭和39年度	松 本 利 雄	学校行事	〃
昭和40年度	福 田 慶 罔	英 語	〃
昭和45年度	西 村 美沙子	音 楽	〃
昭和46年度	高 木 宏 文	数 学	〃
昭和46年度	中 村 功	理 科	〃
昭和47年度	成 瀬 二 郎	理 科	〃
昭和47年度	橋 本 紘 一	英 語	〃

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
技 術 的 職 業	270	20.0	運輸通信従事者	90	7.8
管 理 的 職 業	190	15.0	サービス業従事者	35	2.8
生産工程作業者	275	20.0	販 売 従 事 者	80	6.6
事 務 従 事 者	270	20.0	農 林 業	20	1.5
単 純 労 働 者	17	1.3	そ の 他	13	1.0
保安職業従事者	50	4.0	計	1,310	

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立七生中学校
所在地 日野市豊田1944
電話 0425-91-0174・0157
順路 南平駅(京王線)下車 徒歩7分

校長氏名 高橋 太一

主任氏名 田代 拳

1. 沿革の概要

- 昭22.4.1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置
昭22.5.15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行2部授業で発足
昭23.2.15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行
昭23.9.4 新校舎完成、本日より授業開始
昭32.12.1 PTA結成第1回総会を挙行
昭32.12.1 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行
昭36.7.15 プール新設工事着工(東京都費による)
昭37.7.31 プール開きを挙行
昭41.7.1 体育館落成
昭41.1.31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
昭45.3.31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する
昭45.4.1 七生中学校三三分校設置
昭45.9.30 日野第三中学校開校につき七生中学校三三分校廃止
昭46.3.31 第二期防音鉄筋校舎完成
昭46.5.27 防音校舎落成記念式挙行
昭46.8.24 プール浄化装置、更衣室完成
昭47.3.20 観察用水槽完成

2. 歴代校長

氏名 年月～年月
飯塚 節三 昭22.4～昭25.9

氏名 年月～年月

増山 恒 昭25.10～昭30.10
飯島 一吉 昭30.10～昭37.3
木村 巧 昭37.4～昭40.3
芳西 幸三 昭40.4～昭44.3
羽崎 一男 昭44.4～昭47.3
高橋 太一 昭47.4～現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ20分、浅川にそう静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に都市化が進みつつある。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区内に百草園、高幡不動等があり、また多摩動物園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

教育基本法および学校教育法の定めるところに基づき、自主、敬愛、勤勉、責任、健康の五つの教育目標を定め、これを身につけた人間の育成に努める。

5. 本年度指導の重点

- ・学習指導
基礎学力の向上
自主的学習態度の養成
- ・生活指導

上記教育目標を身につけた中学生らしい生活態度の育成。生徒の非行化防止と善導、道徳、特別教育活動の効果的運営。

・進路指導

進学、就職の両面にわたり、自己の適性を考えて進路を決定するよう指導する。

・その他

健康の保持増進、交通に対する安全教育の推進。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	6	6	5	17
男	144	115	92	351
女	110	111	112	333
計	254	226	204	684

7. 職員数

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	高 橋 太 一	53	経 営	47.4.1	理 科	
2	田 代 拳	49	経 営	45.4.1	社 会	
3	田 端 七 郎	35	1 - A	45.4.1	技 術	
4	田 中 憲 助	45	1 - B	37.4.1	理 科	
5	内 藤 柳 子	23	1年主任 1 - C	47.4.1	音 楽	
6	鈴 木 達 夫	23	1 - D	47.4.1	保 体	
7	松 本 節 子	33	1 - E	42.4.1	家 庭	
8	明 石 敏 春	43	1 - F	41.4.1	数 学	
9	宮 沢 利 雄	43	1年所属	45.4.1	英 語	
10	佐 藤 良 枝	50	1年所属	42.4.1	国 語	
11	石 井 幸 男	40	2 - A	41.4.1	理 科	
12	山 本 矢 一	34	2 - B	36.4.1	保 体	
13	猪 井 詔 子	27	2 - C	43.4.1	英 語	
14	新 井 教 旦	35	2 - D	46.4.1	数 学	
15	伊 藤 栄 一	23	2 - E	47.4.1	社 会	
16	阿 部 晃 一	46	2 - F	42.4.1	美 術	
17	山 辺 文 男	50	2年所属	43.4.1	国 語	
18	加 藤 邦 子	33	2年所属	41.4.1	保 体	
19	木 下 満 子	41	2年所属	45.4.1	社 会	
20	戸 川 二美子	25	3 - A	45.4.1	国 語	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
21	大 宅 寛	38	3 - B	38.4.1	音 楽	
22	水 谷 晶 子	46	3 - C	45.4.1	数 学	
23	成 舞 京 子	37	3 - D	46.4.1	理 科	
24	鈴 木 清 司	40	3 - E	41.4.1	社 会	
25	赤 木 清 福	48	3年主任 3年所属	39.4.1	国 語	
26	海 谷 幸 子	32	3年所属	47.4.1	英 語	
27	中 村 剛 紀	30	3年所属	46.4.1	美 術	
28	大 塚 和 子	25	3年所属	44.5.1	保 健	
29	御子柴 昭 治	46	訪問学級	47.4.1	特 殊	
30	梅 原 洋 美	29	訪問学級	47.4.1	特 殊	
31	飯 キ ミ	60	事務主事	22.4.30	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校行事等の基本的考え方について	
昭和41年度	学校行事等の調査検討	
昭和42年度	学校行事等の指導計画作成について	㊦
昭和43年度	学校と家庭の協力について（特に家庭訪問）	㊦
昭和44年度	効率を高める学級経営のすすめ方について	㊦
昭和45年度	生徒の自主性を高めるための生徒会活動のあり方について	㊦
昭和46年度	効率をたかめるための指導のあり方について	
昭和47年度	学級経営の効果的運営について	

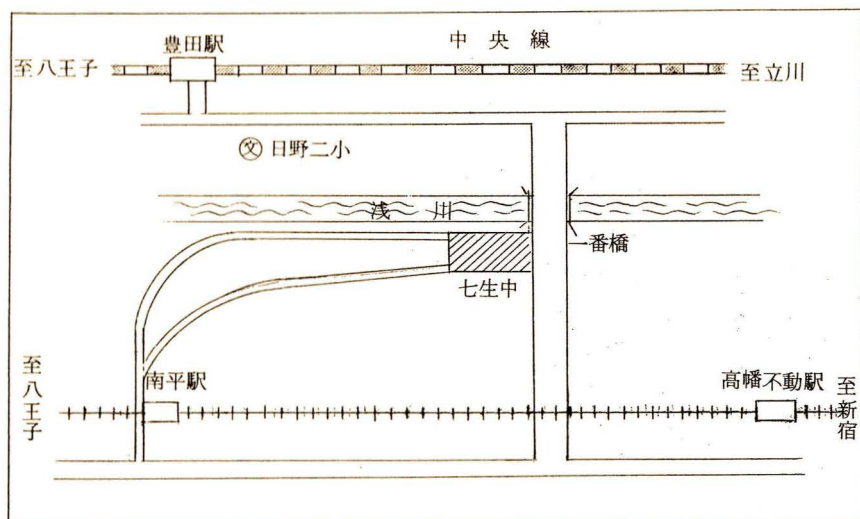
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

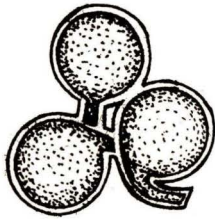
年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和34年度	出 水 操	美 術	研 究 員
昭和41年度	城 所 富 子	技術家庭	〃
昭和43年度	阿 部 晃 一	美 術	〃

10.保護者の職業一覧

職 業 名	数	職 業 名	数
会 社 員	3 6 7	自 営 商 業	5 5
公 務 員	7 0	〃 農 業	3 6
学 校 職 員	1 6	自 由 業	2 9
鉄道関係職員	4 0	無 職	7
公 団 職 員	8	そ の 他	2 1
自 営 工 業	3 5		

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第三中学校

所在地 日野市程久保 650

電話 0425-91-2228

順路 京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて
高幡台団地下車徒歩 5 分

校長氏名 橋本 敏一

教頭氏名 鈴木 邦男

1. 沿革の概要

昭 45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三分校として七生中学校内で授業開始。生徒数 26 名 職員数 12 名。

昭 45. 7. 7 プール建設工事着工
(日野市程久保 650)

昭 45. 9. 4 校舎新築工事着工(全上)

昭 45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校
七生中学校内で授業。生徒数 44 名、職員数 14 名、百草団地高幡台団地を学区とする。

昭 45.10.28 プール工事竣工

昭 46. 3.27 校舎新築工事竣工

昭 46. 4. 1 学区変更 程久保地区全部三沢地区上中を加える。生徒数 228 名、学級数 7 となる。
日野市程久保 650 番地の新校舎に移転。

昭 46. 7. 1 通学区変更 西部百草団地を加える。

昭 47. 3.17 第 1 回卒業式挙

(卒業生 23 名)

昭 47. 4. 1 生徒数 365 名、学級数 10 となる。

2. 歴代校長

氏 名 年 月 年 月

初代 橋本 敏一 昭 45.9～

3. 地域の環境

本学の学区は、日野市南部の多摩丘陵地帯に位置し、日本住宅公団の百草団地、高幡台団地と民間分譲地の三井団地、電建団地、西武団地および在来の集落である程久保、三沢をふくんだ人口急増のベッドタウンである。

起伏が多く林に囲まれた静かな高台で、眼下には浅川が流れ、はるかに武蔵野台地を一望に見渡すことができる。学区内に都立多摩動物公園、明星大学があり、よい環境である。住民の多くは各地より最近移住した者で、その大半は都心へ通勤するサラリーマンである。

4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人となる。

(1) 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。

(2) 豊かな心を養い、力を合せて進もう。

(3) 若人らしい気力、体力を養おう。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点
ア、各教科

教科の特性に応じた指導をくふうし、自発的な学習態度をうながす。

イ、道徳

年間指導計画を改善し、道徳の時間の一貫性を持たせる。

ウ、特別活動

① 学級指導の年間指導計画を作成し、学級会活動との関連を明らかにする。

② 体育的行事を充実し、生徒の参加意欲をもちたてる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

① 生活指導においては、学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織を通して自律ある生活態度を身につけさせる。

② 進路指導においては、教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的指導を実践する。

6. 生徒数

学 年	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	4	3	3	10
男	79	60	50	189
女	59	65	50	174
計	138	125	100	363

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	橋 本 敏 一	48	校 長	45. 9. 9	国 語	
2	鈴 木 邦 男	47	教 頭	45. 9. 16	理 科	
3	長 島 寿 平	49	1年主任	45. 10. 1	理 科	
4	鈴 木 信 一	46	1 - 1	47. 4. 1	数 学	
5	桜 井 絢 子	35	1 - 2	46. 4. 1	保 体	
6	佐 藤 寿 枝	33	1 - 3	45. 10. 1	家 庭	
7	東 郷 隆 盛	46	1年所属	45. 10. 1	国 語	
8	吉 田 克 己	49	2年主任	46. 4. 1	国 語	
9	持 田 友 宏	38	2 - 1	45. 10. 1	社 会	
10	佐 藤 恒	41	2 - 2	45. 10. 1	美 術	
11	河 野 裕 香	39	2 - 3	45. 10. 1	音 楽	
12	内 藤 由紀子	35	2年所属	45. 10. 1	英 語	
13	畔 蒜 健 一	50	3年主任	45. 10. 1	技 術	
14	遠 藤 仁	39	3 - 1	45. 10. 1	英 語	
15	志 茂 知 之	41	3 - 2	47. 4. 1	社 会	
16	鈴 木 幸 子	42	3 - 3	45. 10. 1	数 学	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
17	北 原 景 昭	39	3年所属	45.10.1	保 体	生活指導主任
18	小屋松 ゆ み	22	〃	47.4.1	保 健	養護教諭
19	佐 藤 博 助	52	事務主査	45.10.1	事 務	
20	穴 井 節 子	42	非常勤講師	47.4.1	国 語	
21	古 山 美智子	30	〃	47.4.1	数 学	
22	内 田 功	33	〃	47.4.1	理 科	
23	尾 形 敬 史	26	〃	47.4.1	保 体	

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的、技術的職業	41	12.5	運輸通信などの職業	12	3.7
管 理 的 職 業	57	17.4	サ ー ビ ス 的 職 業	23	7.0
事 務 的 職 業	134	40.9	無 職 . そ の 他	9	2.7
販 売 的 職 業	11	3.4			
農林漁業などの職業	7	2.2			
技 能 的 職 業	34	10.4	計	328	100.0

11. 学校に至るまでの地図

